

1. 件名：新規基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽6号機設計及び工事計画）【52】

2. 日時：令和5年12月1日 13時30分～16時10分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明上席安全審査官、津金主任安全審査官、中村主任安全審査官、府川安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、山浦技術参与

原子力規制部 審査グループ 地震・津波審査部門
平賀係員

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部 課長 他10名

原子力設備管理部 設備計画グループ 課長 他1名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 主任 他2名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 担当 他1名※

中国電力株式会社

電源事業本部（原子力建築） 担当副長※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

なし

| 時間 | 自動文字起こし結果 |
|---------|---|
| 0:00:01 | 規制庁のチギラです。柏崎刈羽 6 号機、設工認のヒアリングを、ヒアリングを始めます。 |
| 0:00:07 | それでは、東京電力の方から説明をお願いいたします。 |
| 0:00:13 | 東京電力ホールディングスサイドでございます。よろしくお願いいたします。 |
| 0:00:18 | 本日のちよつとご説明の順番なんですけども資料は幾つかございまして、まずは、津波の共同計算の方針、あとは、 |
| 0:00:28 | 椅子への配慮が必要な強度計算の方針とございます。それで補足説明資料を計算結果計算書という形になりますがちよつと資料の幾つかございますのでちよつと、 |
| 0:00:40 | 区切りながらご説明させていただきたいと思います。まずは、 |
| 0:00:46 | その上の配慮が必要になってその共同計算の方針、あとは溢水のその強度計算の方針、あと、すいませんちよつとこの、 |
| 0:00:54 | 企業情報の |
| 0:00:58 | 記念関係の内容も含むのが、7 番でございますのでその耐震計算結果のそのご説明をさせていただいて 1 回区切らせていただきたいと思います。そのあと、補足説明資料のご説明をさせていただいて、そこで区切りとさせていただいてそのあと、 |
| 0:01:13 | 保険関係のこの計算書のご説明という形で進めさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。すいません番号で何々と何が。 |
| 0:01:25 | 入っているかっていうのをはいもう一度お願いできますか。一番から 4 番と 7 番。 |
| 0:01:30 | を、まず最初にご説明させていただきたいと思います。 |
| 0:01:37 | その次に 5 番 6 番、補足説明資料になります。 |
| 0:01:42 | あとは、8 番から 16 番までと。 |
| 0:01:45 | いった大きくりで、 |
| 0:01:47 | やらせていただきたいと思います。と存じます。 |
| 0:01:55 | すいませんこれ計算の結果で、 |
| 0:01:58 | 記念の記念分の計算結果がこの計算書にありますっていう、そういう内容だけ含んでおりました、簡単に紹介だけさせていただきたいんですけども、 |
| 0:02:10 | すいませんちよつとここでの分類を、ちよつと線引きがその一つずれてしまつて申し訳ありません。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:02:19 | はい、わかりました。はい。次は、最初のパートの説明からお願いします。 |
| 0:02:31 | はい、東京電力安部と申しますよろしくお願いします。 |
| 0:02:35 | まず資料ナンバー2の方からご説明させていただきます。こちら資料番号KK6. -3-015-1。 |
| 0:02:44 | 括弧以下協会の0でございます。 |
| 0:02:48 | 側と署名が6-3、別添3-1-1、津波への配慮が必要な施設の共同計算の方針でございます。 |
| 0:02:57 | 7号と6号の差異の部分、青字の方を中心に説明して参ります。 |
| 0:03:05 | まず上の方からですが、こちら、数値の方で、5と6と75と6と5で差がありますがこちらにつきましては記載の適正化でございます、図書番号の相違による差異でございます。 |
| 0:03:18 | 以降、ポツ1というふうに表記させていただいております。 |
| 0:03:22 | 以降こちら説明の方も割愛させていただきます。 |
| 0:03:26 | 次の淡路に参りまして、下津波監視設備というのが追加されておりますが、 |
| 0:03:32 | こちらの方は、設工認申請号機の違いによる差異でございます、 |
| 0:03:38 | 6号機につきましては取水槽水位計が、津波監視設備として津波の配慮対象のため、追加したものでございます。 |
| 0:03:45 | 以降この監視設備につきましては説明の方、追加については割愛させていただきます。 |
| 0:03:53 | 続きまして2ページ目のほうへ参ります。 |
| 0:03:58 | こちらの表の方強度評価の対象施設についてでございますが、 |
| 0:04:03 | こちらの方の差異については、申請号機の違いに言う際でございます。で、機器配置の際の関係で差異が出ているものです。 |
| 0:04:12 | 以降配置図含めまして |
| 0:04:16 | 動きによる配置の違い等、説明の方割愛させていただきます。 |
| 0:04:22 | 次に12ページへ参ります。 |
| 0:04:28 | こちらの下の方になります。 |
| 0:04:31 | こちらの伴7号機で3.2、6号機で3-2とございますがこちらは表記上の差異でございます。 |
| 0:04:41 | 以降説明のほう割愛させていただきます。 |
| 0:04:45 | 続きまして14ページへ参ります。 |
| 0:04:49 | こちら海水貯留槽の構造計画でございますが、こちらの方、申請号機の違いによる差異でございます、こちら機器配置による、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:04:59 | あと構造の差異によるもの、構造の方は施工者の違いによるもので、差異が出てございます。以降同様の差異につきましては説明のほう割愛させていただきます。 |
| 0:05:11 | 次に 48 ページに参ります。 |
| 0:05:18 | こちらの上の方でございますが、7号機がカンマアノ6号機及びという表記になっておりますがこちら表記の適正化によるものでございます。 |
| 0:05:28 | 1個同様、 |
| 0:05:30 | 失礼しました。 |
| 0:05:32 | はい。 |
| 0:05:33 | その下ですね真ん中ですけども、7号機でまたというのが、6号機では漢字でまたございますその下のまたも同じでございますが、これは表記の適正化のためでございます。 |
| 0:05:46 | 次に 55 ページへ参ります。 |
| 0:05:56 | すいません |
| 0:05:57 | 貫通部止水処置の構造設計についてでございますが、これ県ケーブルトレイ貫通部につきまして、自家マエダActにシール材を10人という点というのが追加されてございますが、 |
| 0:06:10 | こちら、こちらにつきましては申請号機の違いによる差異でございまして、プラントメーカーの違いによる設計方針の差異によるものでございます。 |
| 0:06:20 | その下中段に参りまして、漏えいというところが、表記の仕方が漢字と、ひらがなとなっておりますこちらの方は表記上の差異でございます。 |
| 0:06:32 | その下に参りまして、7号機で閉止版括弧鉄板フラップゲートとフラップゲートが追加になっておりますが、こちらの方の申請号機の違いによる差異でございまして、 |
| 0:06:44 | 6号機では浸水防止設備としてフラップゲートを設置していないためでございます。 |
| 0:06:51 | 以降のようなものは説明を割愛させていただきます。 |
| 0:06:56 | その下になりまして有意な漏えいというところが多いですが、こちらはケーブルトレイ金属ボックスにつきましてですが、 |
| 0:07:04 | こちらにつきましては、こちら申請号機の違いによる差異でございまして、プラントメーカーの違いによる、 |
| 0:07:10 | 設計方針の差異でございます。 |
| 0:07:13 | 以降同様の理由によるものは説明のほう割愛させていただきます。 |
| 0:07:20 | 次に 96 ページへ参ります。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:07:27 | こちら下段の方ですが、生後機関間、6 オギ及びというところがござい ますが、こちらの方表記の適正化によるものでございます。 |
| 0:07:38 | 次に 104 ページのほうへ参ります。 |
| 0:07:45 | こちらは施設ごとの評価と処分の日、協議委員会についての表でござ います。こちらの方は申請号機の違いによる差異でございまして、6 号 機では収集所水系の評価対象部位の貫通部止水処置を、 |
| 0:07:57 | モルタルにて行っているというものでございます。 |
| 0:08:02 | 次に 108 ページへ参ります。 |
| 0:08:08 | すいません河合市長流抄録号機の共同計算と 7 号機で書いてござい ますが、こちら 6 号機の方が 7 号機というふうに、 |
| 0:08:17 | 差がございまして。こちらの方は記載の適正化でございまして、参照文書 名に合わせたものでございます。 |
| 0:08:26 | 次に 119 ページへ参ります。 |
| 0:08:32 | こちら中段でございまして、 |
| 0:08:35 | こちら、 |
| 0:08:37 | 床ドレンが被水防止事業の共同計算書とアノのところは違いますが、こ ちら記載の適正化でございまして参照文書名を反映したものでございま す。 |
| 0:08:48 | 次に 120 ページの方へ参ります。 |
| 0:08:54 | こちらについても同じで参照文書ですね共同計算書の方。 |
| 0:09:00 | 記載の適正化で参照文書名の反映でございまして。 |
| 0:09:05 | 次に 125 ページへ参ります。 |
| 0:09:09 | こちら適用規格についてでございまして、下の方で、日本工業規格こち らの方日本産業規格と、記載の適正化を図っております。 |
| 0:09:20 | こちらの資料については以上でございまして。 |
| 0:09:27 | 続きましてナンバー 4 の資料の方に参ります。 |
| 0:09:33 | こちらの方、資料、 |
| 0:09:35 | 番号の方が、KK6. の 2-3 の、 |
| 0:09:39 | 015-9、規格表、括弧 0 でござい、下位の 0 でございまして。 |
| 0:09:45 | 図書名称が 6-3、別添 3-2-1、イシイへの配慮が必要な施設の強度 計算の方針、 |
| 0:09:53 | でございまして。 |
| 0:09:55 | こちらの方 1 ページ目から、 |
| 0:10:00 | の方から参ります。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:10:02 | 一番上は先ほどと同じで記載の適正化で、同じくポツ1と、図書番号の相違の方、記載してございます。 |
| 0:10:11 | 続きまして中段でございませうが、青字の部分でございませうが、 |
| 0:10:15 | こちらの方は |
| 0:10:17 | 7号機及び7号機に係る共用設備につきまして、7号機設工認にて申請済みの分の旨を記載したものでございませう。記載の適正化でございませう。 |
| 0:10:29 | 次に2ページの方へ参ります。 |
| 0:10:33 | こちらの方強度計算の対象施設を防護する事象についてでございませうが、 |
| 0:10:38 | こちら、設工認申請号機の違ひによる差異でございませうして、機器配置の差異によるものでございませう。 |
| 0:10:45 | 以降配置図含めて、説明のほう割愛させていただきます。 |
| 0:10:50 | 次に5ページの方へ参ります。 |
| 0:11:00 | はい。5ページの中段でございませうが、関数物理処置についてでございませうが、 |
| 0:11:09 | 7号機につきましてはフラップゲートという記載で、動きにつきましては止水ダンパーカックJavaシャット間移行止水ダンパーというところ、記載がございませうがこちらの方は、申請号機の違ひによる差異によるものでして、 |
| 0:11:24 | 製品の製造メーカーの差異によるものです。行動理由につきましては、説明のほうを割愛させていただきます。 |
| 0:11:34 | 次は6ページの方をお願いします。 |
| 0:11:40 | こちらは先ほどと同じで表記の差異でポチッとー3になります。以降、説明のほう割愛させていただきます。 |
| 0:11:50 | 次に29ページへ参ります。 |
| 0:11:58 | こちら、水密扉付沖積の構造計画でございませうが、 |
| 0:12:03 | こちら、施設購入申請号機の違ひによる差異でございませうして、号機の違ひによる、詳細構造が異なることによる差異でございませう。 |
| 0:12:13 | 次に30ページへ参ります。 |
| 0:12:16 | 中段になりまして、 |
| 0:12:18 | 7号機ではアンカー金またはアンカーボルトという記載でございませうが、 |
| 0:12:24 | 6号機では、及び元金というふうなアンカーボルト、アンカー近傍とアンカー一期に統一した記載としております。 |
| 0:12:36 | 次に47ページへ参ります。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:12:45 | こちらの溢水伝播防止堰の構造計画でございますが、こちらの方は、一型 5 タイプの方を、地域下、 |
| 0:12:55 | 括弧になります。以降イシイ伝播防止堰の一型答えで追加したという旨説明の方割愛させていただきます。 |
| 0:13:06 | 続きまして 48 ページに参ります。 |
| 0:13:11 | こちらの方ですね行動計画のイシイ伝播防止堰ですが、 |
| 0:13:17 | アンカーボルトのところアンカー金という表記の方を統一しております。 |
| 0:13:23 | 次に 49 ページへ参ります。 |
| 0:13:27 | こちら管理区域外伝播防止堰についてでございますが、こちら行動計画で、6 号機の方でハンドル柱、あと、 |
| 0:13:38 | インパクトボルトと追記されてございますがこちらの方、申請号機の違いにより、 |
| 0:13:44 | 詳細な構造の差異によるものでございます。 |
| 0:13:49 | 以降この後 54 ページでその図の方が出て参ります。 |
| 0:13:54 | 49 ページ下の方になりましてこちら先ほどと同じでございますが、 |
| 0:13:59 | アンカー金の部分を、アンカーボルトの方、アンカー金と表記の方等設置しております。 |
| 0:14:07 | 次に 54 ページのほうへ参ります。 |
| 0:14:12 | こちら 54 ページの方ただいま申しました、管理区域は溢水伝播防止堰につきまして、構造図になっております。 |
| 0:14:21 | こちらの方、号機の差による詳細構造の差でございます。 |
| 0:14:27 | 次に 88 ページへ参ります。 |
| 0:14:33 | 下段の方になりますが、 |
| 0:14:35 | こちらの方、 |
| 0:14:37 | 刀禰フラップゲートと止水ダンパーの方、社員の方、製造メーカーの差異によるもので、でございます。 |
| 0:14:46 | 次に 89 ページへ参ります。 |
| 0:14:50 | 89 ページのケーブルトレイ金属ボックスにつきまして、こちら、医師による施設課長に対して、金属ボックスに有意な漏えいが生じないこと。 |
| 0:15:00 | という表記が異なっておりますが、こちらの方、 |
| 0:15:04 | 申請号機による差異でございます、 |
| 0:15:07 | プラントメーカーによる設計方針の差異によるものでございます。 |
| 0:15:13 | 次に 109 ページの方へ参ります。 |
| 0:15:24 | こちらの本数貫通部主処置の構造計画でございますが真ん中中の方の図でございます。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:15:31 | ケーブルトレイ金属MOXでございますが、プラントメーカーの違いによる、 |
| 0:15:36 | 構造の差異でございます。 |
| 0:15:39 | 次 111 ページへ参ります。 |
| 0:15:46 | こちら貫通部趣旨の行動計画になりまして、 |
| 0:15:50 | 計 7 号機でフラップゲート、6 号機で止水ダンパーでございますが、製造製品の製造メーカーの際、 |
| 0:16:00 | によるものでございます。 |
| 0:16:02 | 次 117 ページに参ります。 |
| 0:16:12 | こちら溢水伝播防止堰でございますが、H型工の部分、こちらの方、追加した形で、記載の適正化を図っております。 |
| 0:16:22 | 下段の方になりまして、 |
| 0:16:25 | こちら、bポツのところアンカー金のところ、6 号機の方、削除されておりますが、こちらの方はこの後Dのアンカーボルトの項目で、の方へ |
| 0:16:39 | 記載の方、移しております。文章の方スリム化しております。 |
| 0:16:44 | 118 ページに参ります。 |
| 0:16:47 | 118 ページの方で例の項目に、アンカ金の項目。 |
| 0:16:52 | を追記しております。 |
| 0:16:55 | これで記載の方シンプルにし、書いております。 |
| 0:17:00 | 118 ページの下段になりまして、こちらアノ及び柱というのが追加ですが、こちら 5 分違いによる詳細構造の差異によるものでございます。 |
| 0:17:12 | 次に 119 ページへ参ります。 |
| 0:17:16 | こちらの方、 |
| 0:17:17 | こちら、管理区域外イシイ伝播防止堰についてでございますが、こちらの方、先ほどと同様でございますが、アンカー金を、 |
| 0:17:26 | 以下のCの項目に、 |
| 0:17:30 | 赤堀とあわせて記載して、文章のスリム化を |
| 0:17:34 | 記載のほうのスリム化を図っております。 |
| 0:17:38 | その下にアンカー金の方針の項目に入れております。 |
| 0:17:43 | 119 ページ下段になりましてハンドルが追加されておりますが、こちらの方申請号機の違いによる、詳細構造の差異によるため追加されて、 |
| 0:17:53 | ございます。 |
| 0:17:59 | 次に 126 ページに参ります。 |
| 0:18:07 | 126 ページ、例の鉄板の項目でございますが、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:18:12 | こちら、刀禰書記の方が貫通孔または貫通孔と貫通物の隙間に施工する、鉄板が概ね弾性状態にとどまることを確認すると。 |
| 0:18:22 | いう、7号機側の記載がございますが、6号機につきましては、決算が概ね弾性状態にとどまると。 |
| 0:18:29 | いう表記に変えております。こちら申請号機の違いによる差異ございまして、構造の差異によるヨリキ際の差異でございます。 |
| 0:18:40 | 下段でございますが、こちらフラップゲートと止水ダンパ、こちら、製品製造メーカーの差異によるものでございます。 |
| 0:18:48 | 127ページでございます。 |
| 0:18:55 | 27ページ上段につきまして、止水ダンパーのアンカーボルトにつきまして、これも申請空気の注入再製品のメーカーの差で記載によるものでございます。 |
| 0:19:09 | 127アノ中段、keV取り金属ボックスにつきまして、 |
| 0:19:14 | こちらを次の真ん中の金属ボックスが有意な漏えいが生じないことを確認する評価方針。 |
| 0:19:20 | というのを追加してございますが、こちら、プラントメーカーの違いによる構造災害により、設計方針が下がる様でございます。 |
| 0:19:29 | 次に129ページへ参ります。 |
| 0:19:35 | こちらの方、 |
| 0:19:36 | そうですねイシイ防止連敗セキにつきまして、一型コウを追記して、 |
| 0:19:42 | アンカー金の記載値を、 |
| 0:19:44 | 変更してございます。 |
| 0:19:47 | 230ページへ参ります。 |
| 0:19:53 | こちら施設ごとの表、耐評価対象部位の評価限界の表ですが、 |
| 0:19:59 | こちらの管理区域外地伝播防止堰につきまして、 |
| 0:20:03 | ロープの違いによる、構造の詳細構造の差異ではシライんさVファンド。 |
| 0:20:09 | を追記しております。 |
| 0:20:12 | アンカー金の記載値を変えております。 |
| 0:20:18 | 232ページへ参ります。 |
| 0:20:25 | 132の下段の方でケーブルトレイ金属ボックス、 |
| 0:20:30 | についてでございますが、こちら、プラント名勘違いによる、設計方針の差異によるものでございます。 |
| 0:20:39 | 次に136ページへ参ります。 |
| 0:20:46 | こちらですね。 |
| 0:20:47 | AA、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:20:51 | 好成绩についてございますが、こちらの方、記載の適正化で一型コウわく材の方、こちらの方、追記しております。 |
| 0:21:01 | 137 ページに参ります。 |
| 0:21:06 | こちらの方、動きによる差異で、構造の差異のあれ、 |
| 0:21:12 | 評価部位を追記してございます。 |
| 0:21:17 | 245 ページに参ります。 |
| 0:21:24 | これは適用規格でございますが、日本工業規格を日本産業規格に適正化しております。 |
| 0:21:31 | こちらの図書については以上でございます。 |
| 0:21:35 | はい。 |
| 0:21:37 | 続きまして、7 番の図書の方、ご説明させていただきます。 |
| 0:21:47 | そして資料番号KK6 件の 2-042-1 回 0。 |
| 0:21:53 | 署名が 6-2-10-2-1、浸水防護施設の耐震計算結果。 |
| 0:21:59 | でございます。 |
| 0:22:01 | まず、1 ページの方。 |
| 0:22:03 | 1 ページ目の方から参ります。 |
| 0:22:06 | こちら今資本資料につきましては浸水防護施設の設備の、 |
| 0:22:11 | 耐震計算の手法及び条件の整理についてへの説明するものでございます。 |
| 0:22:17 | 耐震計算結果につきましては、表の 2-1 に示す。 |
| 0:22:22 | 決算書の番号によるもので、について説明いたします。 |
| 0:22:27 | 次の 2 ページ目の方ですをお願いします。 |
| 0:22:33 | 表の 2-1、耐震評価条件整理一覧表でございます。 |
| 0:22:39 | それ、表の構成ですが、左側、評価対象設備、浸水防護施設の評価対象設備が、 |
| 0:22:47 | 記載されております。 |
| 0:22:50 | その隣に耐震重要度分類、 |
| 0:22:53 | が記載がございます。 |
| 0:22:56 | それぞれについての計算結果耐震評価計算書の、 |
| 0:23:01 | 方で評価結果が示されておりました、こちらの図書番号の方で計算結果が示されております。 |
| 0:23:10 | この資料につきましては、施設名の方は以上でございます。 |
| 0:23:19 | はい、規制庁チギラです。それでは一つ目のパートで説明がありました、資料の 1234 と 7 番。 |
| 0:23:28 | に関して確認する点がある方、お願いします。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:23:40 | 規制庁の府川です。私から幾つか確認させていただきます。資料は比較表であった本体の方という、ちょっと確認したいんですがまず資料の①番。 |
| 0:23:51 | 津波への配慮の強度計算方針をお願いいたします。 |
| 0:23:58 | こちらの、まず1ページなんですけれども、一番下のところの2.1の評価対象施設というところで、今回、この津波への配慮の |
| 0:24:09 | ところで、共同評価する代表対象施設を、表2-1と、 |
| 0:24:14 | 図の2-1に示すという形で次のページに、 |
| 0:24:17 | 出てるんですけど、この表と図がちょっとリンクしていないとっていて、例えば一番わかりやすいところと言うと、図には津波監視カメラ範囲が入っていて、 |
| 0:24:28 | 中には入っていなかったりとか、 |
| 0:24:31 | あと水密扉とかはまとめて書いてあるってことなのかもしれないんですけど、もうまずについて多分他の |
| 0:24:38 | 資料で使われてたものをそのまま使っていてちょっとそのような、 |
| 0:24:42 | 差異が出てしまったのかなと思うところはちょっとここで文章としてただ今回の共同評価の対象施設を示しているのであればこの表と図はちょっと適正化していただきたいと思います。その点よろしいでしょうか。 |
| 0:24:54 | 失礼いたしました。表と図の表現の違い。 |
| 0:24:59 | 表現で中身の記載内容が違うと思うんですけども、 |
| 0:25:09 | あ、東京電力遠藤です。おっしゃる通りですので、適切かさせていただきます。はい。規制庁深井です。わかりましたお願いいたします。続いて6ページをお願いします。 |
| 0:25:23 | 6ページの3.2.1ポツ、海水貯留堰のところの(2)の評価方針のところちょっと文章読んで引っかけたところがありまして、 |
| 0:25:32 | ここで段落三つあって、 |
| 0:25:36 | 文末の表現ですね、最初のところは許容限界内に収まるって言うてその次のところは評議委員会以下であるってその次の教育委員会が書いてあって同じようなこと言うてる。 |
| 0:25:47 | とってるんですけどもちょっとこの表現が違うんですけどもここがちょっと表現を変えている。李。 |
| 0:25:53 | 理由等あれば押す、説明ください。 |
| 0:26:11 | 東京電力遠藤です。今日ですねちょっと貯留堰見てます土木部門が来ておりませんで、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:26:17 | ちょっと確認をさせてください。変える必要があれば適正化させていただきますし、もしも変えてる理由があれば、ご説明をさせていただきます。はい。よろしくお願いします。はい。規制庁府川です。わかりました。 |
| 0:26:30 | 続いて |
| 0:26:37 | この資料の構成として、まず構造強度の |
| 0:26:42 | 全体的な評価の方針が3ポツで書かれていてそのあとの4ポツでどのような荷重の組み合わせでやって京銀がどのように設定しますよって書かれていて、 |
| 0:26:52 | 最後に5ポツで、具体的な強度の強度評価このようにやりますよっていう構成でされていると思います。 |
| 0:27:01 | まずちょっと3ポツの最初の方針のところ、これ、あくまで例で全体がそうなんでちょっと開発海水貯留堰をちょっと例に話させていただきますけれどもまず4ページのところで、 |
| 0:27:15 | 4ページの3.1.1のところ、海水貯留堰の強度構造強度のセキグチ書かれていて、 |
| 0:27:24 | ここでわあ、 |
| 0:27:26 | 3行目ぐらいですかね、津波の荷重だったり余震だったり漂流物とか積雪とかを考慮。 |
| 0:27:32 | した荷重って書いて、 |
| 0:27:34 | これセンナ頭海田時積雪とか、 |
| 0:27:37 | ないのかなとか思っていたんですがそこについて4ポツでスクリーニングアウト。 |
| 0:27:42 | していますというところ、4、ちょっと4ポツを見ていて35ページですかね。 |
| 0:27:51 | 35ページの表では結果として積雪荷重を考慮しないところで横ばいになっているというところで3ポツについては、考え得る荷重をすべてリストアップしてこの4ポツで、 |
| 0:28:04 | 実際に考慮するものは何かってことを明示されていると思います。その次の最後50ページのところがそれを、 |
| 0:28:14 | 3ポツインプット踏まえて実際に、 |
| 0:28:16 | どのような、 |
| 0:28:18 | 評価をしますって話になると思うんですけども、 |
| 0:28:21 | この改正調理でき方で1、1のところのbポツでまた、こういうこの前のページでは考慮していなかった荷重、積雪荷重というものが入ってきていて、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:28:34 | ちょっと文章の流れとかのこの資料全体を頭から見たときにさ、ちょっと、 |
| 0:28:39 | ですね話の構成がちょっと |
| 0:28:43 | 何でしょうね |
| 0:28:44 | ちょっと流れとしてわかりにくいなと思ったんですけども、ちょっとこのあたりで適正化とかって考え。 |
| 0:28:51 | そういうことができますでしょうか海水貯留堰に係る河津 アノ他の後に続くシノ手術へ一番精密で全部に共通する話だと思うんでちょっとその全体の、 |
| 0:29:01 | 記載ぶり、 |
| 0:29:03 | ちょっと、 |
| 0:29:05 | 適正化した方がいいのかなと私は思ってちょっとその点をお聞かせください。 |
| 0:29:10 | はい。東京電力遠藤です。ご指摘ありがとうございます。ちょっと読みやすいようにですね理解しやすいようにちょっと全体をもう一度見させていただきまして、どうしてもその差異がある場合はですねこういう理由でこうしますと。 |
| 0:29:22 | いったところはまた別途ご説明差し上げたいと思います。はい。 |
| 0:29:26 | 規制庁深井です。わかりました7号と差異がないっていうのは先ほど説明でわかってるんですがちょっと資料そのものとして見た時にちょっとわかりにくいなと思ったところはちょっとコメントさせていただきました。 |
| 0:29:37 | はい、承知しました。よりわかりやすい資料に努めたいと思います。はい、規制庁深津をわかりましたで、次最後とりあえず、先ほど説明あったパート最後で資料7番で最後の資料の |
| 0:29:51 | 浸水防護施設の耐震計算結果の |
| 0:29:54 | 添付書類なんですけどこれの、 |
| 0:29:58 | 最後のページをお願いします29ページ。 |
| 0:30:13 | ここで最後一番最後に津波監視カメラが出てくるんですけども、 |
| 0:30:19 | この前の表のところで、 |
| 0:30:24 | 鷺見スベンで共用にしているやつは括弧書きで共用7号機設備共用とか書いてあるが、ちょっと津波監視カメラが抜けていると思うんでちょっとここは適正が |
| 0:30:33 | いただければと思いますこの後もう一つ言いたいところがありまして耐震計算の記載箇所として挙げられてこの6-2の中の2-4のような、そもそもこの添付書類の |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:30:44 | タイトル自体も、津波監視カメラだけ 7 号機設備ということが抜けていて他の共用については入っているんでそこがちょっと全体として整合がとれていないので、ちょっと整合と、 |
| 0:30:56 | そういう形にしていただければなと思いますちょっと他のヒアリングでもこの点でもうすでに言っているところあるんですすでに検討されているのかもしれないけどちょっと改めて、 |
| 0:31:07 | コメントさせていただきました。 |
| 0:31:09 | はい。東京電力遠藤です。申し訳ありがとうございます。 |
| 0:31:12 | 共用を明示するっていうことは当社でも、ご提示今コヤマでもご説明差し上げてますので共用のイメージと、あとは 6 号となる事共用するもの以外も、号機でちゃんとわかるような、 |
| 0:31:26 | 表現をちょっと適正化させていただきたいと思います。はい。以上です。 |
| 0:31:31 | はい、規制庁フカワわかりました。お願いします。ちょっと今日の他の資料の補足なんかも出てきてその中も結構、ちらほらあったりするそこも、特段この後コメントはしない全体を見直していただくというところで、 |
| 0:31:43 | やっていたければなと思います。私からは、 |
| 0:31:46 | 以上です。 |
| 0:31:54 | はい。規制庁の仲村です。私からも 3 点ほどですね、ちょっとコメントしたいと思います。まず 1 点目が資料 1。 |
| 0:32:03 | の、5 ページですね。 |
| 0:32:08 | これはもう一つの例ですけども、5 ページのところですね下から 4 行目のところで、 |
| 0:32:14 | 中ほどですけど、地震後の繰り返し繰り返し襲来。 |
| 0:32:21 | で書かれてるんですけど、これって襲来って、多分、もうご存知だと思いますけど規制庁で解釈別記とかガイドとかそういうところで、 |
| 0:32:32 | 用語の統一っていうのが話あったと思うんで、そこで津波に関しては、襲来ではなく来週っていうふうに統一してると思いますのでこの資料全部襲来になってるんでそこは見直していただきたいっていうのと、 |
| 0:32:47 | 合わせてですけど、今言った別記とか見直し要綱の見直しを行った時に侵入とかいろいろあったと思うんで、ちょっとその辺についてもう一括して言いますが、適正化のほうですね、お願いしたいと思います。 |
| 0:33:02 | はい。東京電力遠藤です。おっしゃる通りですので、修正させていただきます。 |
| 0:33:07 | はい。よろしく申し上げます。あとすいません。続いて、資料 1 の、 |
| 0:33:14 | 8 ページ。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:33:17 | ちょっとここは、もしかすると、7号の時にこう説明とかされてたかもしれないんでそれはちょっと申し訳ないかもしれないんですけどちょっと確認させてください。8番で、 |
| 0:33:28 | 海流、海水貯留エザキの絵があって上のほうに平面図があって、 |
| 0:33:35 | 詳細の絵というところで、A部っていうのがコウ。 |
| 0:33:40 | A部括弧取水護岸接続部っていうのがあるんですけど、これはその絵でいうと、南側ですかね。でいうと左側の方ですけど同じように |
| 0:33:52 | 護岸にこうくっついてるようなところがあるんですけど、ここの構造っていうのは、全く同じようなものになってるっていう理解でよろしいですか。 |
| 0:34:08 | 9ページ目、めくってもらおうとそこに平面図部会と拡大ということで |
| 0:34:15 | 前面のに鋼管矢板が繋がってるような絵があるんですけど同じような構造になってるんですよという、念のための確認ですけど。 |
| 0:34:27 | 東京電力遠藤です。先ほど申しました通りちょっと土木がですね、今日来ておりませんでちょっと確認をさせてください。多分構造的には同じものだと思いますがちょっと角度とかですね、その辺がどうなってるかっていうのは確認した上で、 |
| 0:34:40 | ご説明さしていただきたいと思います。はい。そういう意味では違いがあるようでしたら、違う図を載せたほうがよろしいという理解を |
| 0:34:49 | してますがそういうことでそうですねはい。わかりました。もし違いがあるんだしたら、どっちが保守的っていうか、そういう人とかってあると思うんで今これ一つしか書いてないということは同じなのかなと思います。はい。はい。そこがわかるように、 |
| 0:35:04 | 違うようであれば、用意するようにします。 |
| 0:35:08 | はい。 |
| 0:35:10 | はいわかりました。はい。そこら辺がわかるように、はい。表現させていただきます。はい。すいませんけど、よろしくお願ひします。あと、もう1点その関係8ページ9ページのところでちょっと教えてもらいたいの |
| 0:35:23 | 9ページでいくと、 |
| 0:35:26 | 前面のコヤイタってついてるところ等、鋼管矢板が最後あって、その連結のところに止水ゴムっていうのがついてるってか、なってるんですけど、 |
| 0:35:39 | もし、あれですよ多分土木の方いらっしやらないということでちょっと今日今日は答えられないかもしれないんですけど、もし可能であれば、今後ですねちょっとこの絵のところの構造がちょっとよくわかってなくて、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:35:53 | その9ページのところに、 |
| 0:35:55 | 絵があるんですけど線が引かれてるのが、公財とかって書かれてるんですけど、どういうふうになってるのかっていうのがちょっとわかりづらいところがあって、 |
| 0:36:06 | もし可能であればちょっともう少し詳しく教えていただきたいなと思ってますんで、それがどうしてかっていうと、今、9ページの平面図、 |
| 0:36:17 | 部拡大というところだけ見ると何かこう、ちゃんと繋がっててって感じに見えるんですけど、 |
| 0:36:23 | 8ページの方の、 |
| 0:36:26 | 下の方の断面図っていうのが、 |
| 0:36:30 | を見るとですね。 |
| 0:36:31 | 鋼管矢板と全面コウ矢板っていうのの間にコウをハッチング。 |
| 0:36:38 | されてるようなところがあるんですけど、これってどういうふうに構造がなってんのかなっていうところが少し疑問に思ってしまったんで、要するに、 |
| 0:36:49 | 今この絵だけでいくと、海底地盤高の上に乗っかってるような絵になってるんで、 |
| 0:36:55 | 何もコウ、 |
| 0:36:58 | 地面にコウ根入れみたいな感じになってないのかとかちょっとそういうところが気になったんで、すみませんけどもちょっとその辺がわかるように、次回でもいいんで、教えてもらえるとありがたいと思います。 |
| 0:37:12 | はい。東京電力遠藤です。承知しました。また別途ご説明させていただきます。はい。よろしく申し上げます。私からは以上です。 |
| 0:37:24 | はい、伊勢藤チギラです。他に。 |
| 0:37:26 | 資料の1234と7です。 |
| 0:37:37 | 規制庁の山浦ですけど、 |
| 0:37:41 | 4番の資料No。 |
| 0:37:44 | 111ページ。 |
| 0:37:46 | イノウエなんですけど、 |
| 0:37:50 | 6号の止水、止水ダンパなんですけど、これを見てたら |
| 0:37:57 | 行きどまりになってるんで一体何のためかなと思って、 |
| 0:38:01 | 3番の資料3番の資料の72ページ。 |
| 0:38:08 | 72ページを見ると、 |
| 0:38:15 | 止水ダンパーの右側に空調ダクトが繋がってるので、これで、 |
| 0:38:20 | 何となく理解できたんですけど、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:38:23 | この |
| 0:38:25 | まずこの 72 ページのこの絵は、 |
| 0:38:28 | 平面図なのか、立面図なのかどっちなのかちょっとお伺いいたします。 |
| 0:38:36 | はい。東京電力遠藤です。こちらは横から見た断面図でございます。で、おっしゃる通り |
| 0:38:44 | 資料 3 のですね 72 ページとちょっと異なっておりまして藺田区等の絵がないところがちょっと不親切かなと思いますので、これは図を合わせるようにしたいと思います。あとはこれをおっしゃる通りですね、立面ズーがわかるような表現をちょっと追記させていただきます。 |
| 0:39:02 | はい。それで、食うダンパーと空調ダクトの間に板が入ってるんですけど、 |
| 0:39:12 | 例をちょっと見ると閉止版みたいに見えるんですけど、実際の工場は構造はどうなってるんでしょうか。 |
| 0:39:20 | はい。東京電力遠藤です。左側の 7 号で認可いただきましたフラップゲートはですね自重というか浮力で自分が浮力で浮き上がってタバタとシマると。 |
| 0:39:32 | いうことございまして今回 7 号で、6 号で採用してますのが、JAVAシヤットっていう製品名ですが、これはですねちょっと今図示はされてませんが、富塚中、この下ですね、クボミのところに水が入ってくると。 |
| 0:39:48 | 上の板が徹底天井にコウついてますけれどもそのラッチを外してコウパターンと落ちてくるという、水の荷重でラッチを外して閉めると。 |
| 0:39:59 | いうことでございます。 |
| 0:40:01 | ですので 6 と 7 の違いは浮力で上がってくるかもしくはミヅカ中でラッチを外して閉めるかといった構造の違いでございます。 |
| 0:40:11 | 止水ダンパー、ちょっとへこんでところに水がたまると何か 6 が外れるような、 |
| 0:40:19 | ことになってるんでしょうか。はい。ちょっと今図示ができておりませんが、このくぼみのところに板がありまして、そのイイダが沈んでいくと、この上の、 |
| 0:40:30 | 天井についてます。閉止版というところに公募、発注はタッチがかかる棒がついてございます。 |
| 0:40:37 | その下に下がることによってそのラッチが外れて、スイング上に、上から閉止版というのがパターンと閉まると。 |
| 0:40:45 | でその閉まった後にこの閉シバが動かないようにそこで、閉まった瞬間にラッチがかかるという構造でございます。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:40:53 | はい、了解しました。それで、その空調ダクトと、 |
| 0:40:57 | ランパートの間のこの板は、 |
| 0:41:00 | 閉止版のように見えてしまうので何か、 |
| 0:41:04 | 例えば下壁の方は、 |
| 0:41:06 | そこのところだけ、切れてるのでここは穴が開いてるとわかるんですけど、 |
| 0:41:11 | ここも当然空調ダクトとはツーツーになってるんですね通常時は。 |
| 0:41:17 | 東京電力遠藤です。ちょっと図の仕方がですね不親切でございましたので、ちゃんとダクトのですね流路がわかるようなちょっと絵に修正させていただきます。 |
| 0:41:27 | はい了解いたしましたはいよろしく申し上げます私からは以上です。 |
| 0:41:37 | はい、規制庁チギラですが、ほか、 |
| 0:41:39 | よろしいでしょうか。 |
| 0:41:53 | 次です。 |
| 0:41:56 | はい、それでは次のパートの説明の方をお願いします。 |
| 0:42:13 | 東京電力の飯村です。よろしく申し上げます。私の方で、 |
| 0:42:19 | 本日の資料ナンバー5番と6番、そちらの |
| 0:42:25 | 浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料、こちらについて説明させていただきます。 |
| 0:42:32 | 資料版資料につきましては、資料番号、KK6、補足一。 |
| 0:42:40 | 028-80、資料8、浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料、 |
| 0:42:50 | そちらと、 |
| 0:42:53 | 資料番号、KK6、補足028、A-8。 |
| 0:43:00 | 括弧比較表。 |
| 0:43:01 | 甲斐0柏崎刈羽原子力発電所7号機の記載との比較表。 |
| 0:43:08 | 括弧資料8、浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料、こちらの二つの資料で説明させていただきます。 |
| 0:43:19 | 比較表農法につきましては、柏崎7号機と6号機、 |
| 0:43:25 | で、項目の比較をさせていただいております。 |
| 0:43:29 | 比較した結果で変更がある箇所について主に説明をさせていただきたいと思います。 |
| 0:43:37 | なお、2ポツの項目以降で、各計算書に関する補足説明資料につきましては、計算書の説明と一緒に説明させていただきたいと思いますので、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:43:52 | 部分的には本日の説明は割愛させていただく項目もございますので、 よろしく申し上げます。 |
| 0:44:01 | それでは説明させていただきます。 |
| 0:44:04 | まず最初、1 ポツ、浸水防護施設の設計における考慮事項。 |
| 0:44:11 | 1 ポツ 1、地震と津波の組み合わせで考慮する。 |
| 0:44:16 | 荷重について、参考資料につきましては、計 7 棟の比較、変更点はご ざいませぬ。資料については、 |
| 0:44:25 | 10 ページからとなります。 |
| 0:44:30 | 続きまして、 |
| 0:44:32 | 1 ポツに、 |
| 0:44:34 | 海水貯留堰における津波波力の設定方針について、こちらですが、申 請号機の違いによって、図書番号の変更ということで、 |
| 0:44:48 | 整理させていただいております。資料については、30 ページからとな ります。 |
| 0:44:54 | 変更点としましては、資料内の補足説明資料を呼び込んでいまして、そ れ、そちらが 7 号機と 6 号機で記載を変更している。 |
| 0:45:06 | そういったところの変更点のみとなります。 |
| 0:45:11 | 続きましてその下の |
| 0:45:15 | 参考資料 1 と 2 につきましては、7 号機と変更はございません。 |
| 0:45:20 | 資料については、42 ページ以降となります。 |
| 0:45:27 | 続きまして、参考資料 3、冬さ濃度を考慮した場合の影響について、 |
| 0:45:36 | 資料については 49 ページからとなります。 |
| 0:45:41 | こちらにつきましても、申請号機 2 の違いによって変更が、 |
| 0:45:48 | ありますが、申請号機の違いで、文章の言い回しの変更、あと図書番 号の |
| 0:45:56 | 変更等がございますが、 |
| 0:45:59 | 内容については、7 号と同じとなっております。 |
| 0:46:08 | 続きましてその下の参考資料 4 につきましては、変更はございません。 |
| 0:46:15 | 資料については、53 ページからとなります。 |
| 0:46:20 | その下 |
| 0:46:23 | 参考資料 5、海水貯留堰における津波波力算定方法の妥当性につい て、 |
| 0:46:30 | 資料については、60 ページからとなります。 |
| 0:46:36 | こちらにつきましても申請号機の違いによって図書番号の |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:46:42 | 変更となります。変更している箇所につきましては 60 ページ 61 ページ、それぞれK6 の、 |
| 0:46:51 | 補足説明資料を呼び込んでいるところ、そういったところが変更となっております。 |
| 0:46:58 | 続きまして、 |
| 0:47:00 | 1 ポツ 3、自然現象を考慮する浸水防護施設の選定について、 |
| 0:47:06 | 資料については、65 ページからとなります。 |
| 0:47:13 | こちらにつきましても申請号機の違いによって対象設備の変更と整理をさせていただきます。 |
| 0:47:22 | 主な変更箇所としましては、66 ページをご覧ください。 |
| 0:47:31 | こちらの(2)、選定。 |
| 0:47:34 | 対象施設、そちらの項目の、bポツ、浸水防止設備の対象設備、こちらが 7 号機と 6 号機で、 |
| 0:47:44 | 対象が違っているので、変更となっております。 |
| 0:47:48 | 変更となっておりますが、選定方法等、考え方は 7 号機と変わっておりません。 |
| 0:47:59 | 続きまして 1 ポツ 4、津波防護に関する施設の |
| 0:48:05 | 機能設計、構造強度設計に係る |
| 0:48:09 | 許容限界について、こちらの項目につきましては、資料については、 |
| 0:48:14 | 70 ページからとなります。 |
| 0:48:18 | 71 ページ目をご覧ください。こちら、 |
| 0:48:26 | 7 号と 6 号で図書番号を変更していること、それとですね、次のページ 72 ページ目に記載している表がありますが、 |
| 0:48:39 | 記載されている内容については変更はございませんが、海水貯留堰を対象としているのが、6 号と 7 号で違っているので、 |
| 0:48:48 | 対象設備の変更と整理をさせていただきました。 |
| 0:48:55 | 続きまして 1 ポツ 5。 |
| 0:48:58 | 津波防護施設の |
| 0:49:00 | 強度計算における、津波荷重、余震荷重及び衝突荷重の組み合わせについて、 |
| 0:49:07 | こちらにつきましては、変更箇所はございません。 |
| 0:49:12 | 資料については 73 ページ目からとなります。 |
| 0:49:21 | 次に、1 ポツ 6、津波に対する止水性能を有する施設の評価について、 |
| 0:49:29 | こちらですが、資料については 78 ページからとなります。 |
| 0:49:36 | ここでは、後程ご説明させていただきます。取水槽閉止版、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:49:43 | が設置されているタービン建屋の床について、 |
| 0:49:48 | 津波時の強度評価をお示ししているものとなります。 |
| 0:49:53 | 申請号機の違いということで、対象となる設備が7号機と6号機で変更となっておりますが、 |
| 0:50:01 | 評価の考え方については、7号機の時と差異はございません。 |
| 0:50:08 | 結果、こちら結果としては、対象の床の発生応力度が、許容限界以下であることは確認しております。 |
| 0:50:23 | 続きまして、 |
| 0:50:25 | 1ポツ7、強度計算に用いた規格基準について、 |
| 0:50:31 | こちらですが資料については97ページ目からとなります。 |
| 0:50:42 | こちらにつきましては99ページ目をご覧ください。 |
| 0:50:51 | 3番目の実数の規格基準名、こちらを先、先ほど来出てます日本産業規格に変更したこと、 |
| 0:51:01 | あと申請号機の違いによって、使用箇所、資料名を、その表の部分を変更させていただいております。 |
| 0:51:14 | 次に、1ポツ8、こちらにつきましては変更箇所はございません。資料については、101ページ目からとなります。 |
| 0:51:29 | 続きまして1ポツ9、浸水防護施設の評価における、風荷重、積雪荷重、 |
| 0:51:41 | はい。 |
| 0:51:44 | 積雪荷重の設定についてですが、 |
| 0:51:49 | 資料については、106ページからとなります。 |
| 0:51:53 | こちらにつきましても申請号機の違いによって図書番号の変更、整理させていただいております。内容については変更はございません。 |
| 0:52:04 | 続きまして2ポツの浸水防護施設の耐震強度計算に関する補足説明。 |
| 0:52:12 | こちらの項目ですけれど、 |
| 0:52:15 | 2ポツ1、海水貯留堰の耐震計算書に関する補足説明、こちらの項目から、2ポツ6、取水護岸7号機設備の耐震計算書に関する補足説明。 |
| 0:52:31 | こちらに関連する資料、参考資料2までの項目食うにつきましては、 |
| 0:52:38 | 後日、計算書の説明と一緒に説明をさせていただく予定となっておりますので、 |
| 0:52:47 | 本日の説明はす、割愛させていただきます。 |
| 0:52:56 | 続きまして飛ばさせていただきまして2ポツ8。 |
| 0:53:02 | 止水セキの設計に関する補足説明の項目。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:53:09 | こちらになります。資料については、170 ページからとなります。 |
| 0:53:15 | こちらの後段の計算書の方で、具体的な内容の評価の内容は説明させていただきますが、 |
| 0:53:24 | 計算書では代表となる止水セキの説明をしています。 |
| 0:53:29 | それ以外の評価をまとめているのは、こちらの資料となります。 |
| 0:53:34 | こちらにつきましても申請号機の違いによって、スペック等の変更はございますが、考え方等は、計 7 と一緒となっております。 |
| 0:53:49 | 続きまして次の項目、2 ポツ 9 床ドレンライン、浸水防止事業を構成する各部材の評価及び、 |
| 0:53:58 | 機能維持の確認方法について、 |
| 0:54:02 | こちらの項目ですけれど、資料については、309 ページからとなります。 |
| 0:54:11 | こちらにつきましても後日計算書の説明をさせていただく予定のものですが、内容については、申請号機の違いによって、 |
| 0:54:23 | 配置図や図書番号等の変更をしています。 |
| 0:54:27 | していますが、基本的な考え方は、計 7 と変更ございません。 |
| 0:54:37 | 続きまして、 |
| 0:54:40 | 2.10、2.11、こちらにつきましても変更箇所はございません。 |
| 0:54:46 | 次の 2.1 に、水密扉の設計に関する補足説明、こちらの項目ですけれど、 |
| 0:54:56 | 資料については、359 ページからとなります。 |
| 0:55:01 | 先ほどの止水セキの項目と同じで、こちらでも後段の計算書の方で具体的な評価の内容は説明させていただきますが、 |
| 0:55:14 | 計算上では代表と成瀬、水密扉の説明をしております。それ以外の評価をまとめているのがこちらの補足説明資料となります。 |
| 0:55:23 | こちらにつきましても、申請号機の違いによって変更箇所があること、あとですね比較表の方にも書かせていただいておりますが、大物搬出入行。 |
| 0:55:35 | 扉につきましても、こちらは第 2 回補正にて説明する予定ですので、 |
| 0:55:41 | そちらの記載を継続の方では記載していないといった変更がございます。 |
| 0:55:46 | 基本的な考え方等は、7 号と同じでございます。 |
| 0:55:53 | あと、続きまして 2 ポツ 13、浸水防護施設の耐震計算書における、 |
| 0:56:03 | 土木構築物、建物構築物、機器配管系の分類について、 |
| 0:56:11 | こちらにつきましても資料については 411 ページからとなります。 |
| 0:56:20 | 変更箇所につきましても、412 ページの表の中の、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:56:28 | 貫通部止水処置として閉止版フラップゲートが、7号の時には、記載しておりましたが、今回6号機では、 |
| 0:56:38 | 削除されたといったところの変更となります。 |
| 0:56:43 | あとその下の2.14、2.152.16、こちらの地下水排水設備に関する補足説明につきましては、 |
| 0:56:54 | 後日、計算書の、 |
| 0:56:57 | 説明とあわせて説明をさせていただきますので、本日の説明は割愛させていただきます。 |
| 0:57:05 | あと、最後に、計7申請時に、2.15。 |
| 0:57:12 | フラップゲートの加振試験に関する補足説明という資料を作成しておりましたが、 |
| 0:57:17 | 今回の6号申請では、浸水防止設備としてフラップゲートを設置していないことから、作成を、 |
| 0:57:25 | しておりません。 |
| 0:57:28 | 説明の方は以上となります。 |
| 0:57:34 | はい。規制庁の千明です。それでは今説明がありました補足説明資料ですが、すみませんちょっと確認させてください。 |
| 0:57:46 | 後日、計算書と一緒に説明っていうお話は今初めて聞いたんですけど、すみませんもう1回この項目とこの項目、どこにどの項目が後日説明されるのかっていうのをちょっと、 |
| 0:58:00 | もう一度お知らせいただけますか。 |
| 0:58:05 | 東京電力電力飯村です。ですね、2ポツ1。 |
| 0:58:13 | から、その海水貯留堰の関係のところから、2ポツ6、 |
| 0:58:22 | 取水護岸の耐震計算書に関する補足説明。 |
| 0:58:27 | こちらまでが、海水貯留堰の計算書の方、 |
| 0:58:32 | 説明をさせていただく予定でございます。 |
| 0:58:36 | あとですね、 |
| 0:58:42 | あと2.9の床ドレンライン、 |
| 0:58:46 | と。 |
| 0:58:51 | あと、2.14。 |
| 0:58:53 | 2.15。 |
| 0:58:55 | 2.16。 |
| 0:59:03 | そちらの項目が後日の計算書の時に、 |
| 0:59:08 | 詳細の説明ということでお願いします。はい。項目は、わかりました。それで、どうしますかね今日、ここで、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:59:18 | 今、後日説明があるっていう、言われたところについて、 |
| 0:59:24 | 確認するのは先立ちというかこちらから伝えるのかそれとももう後日のほうがいいのかっていうと、どちらがよろしいですか。 |
| 0:59:44 | 東京電力の井村です。 |
| 0:59:47 | そうですね。コメントいただくことはいただいて、それを持ち帰って後日の時に、 |
| 0:59:55 | という、 |
| 1:00:13 | あ、はい、わかりました。では後日、計算書と一緒にこの補足の内容もですね確認したいと思いますので、はい。 |
| 1:00:25 | そういったところで、本日説明していただいた項目に関して、確認する点がある方お願いします。 |
| 1:00:42 | 規制庁の府川です。 |
| 1:00:44 | まず補足の今の5番の資料のところで、106ページ、お願いします。 |
| 1:00:54 | 横目で比較表を見ながら、 |
| 1:00:58 | 聞いていただければと思うんですけども。 |
| 1:01:05 | 1.9として浸水防護施設の評価における家庭荷重積雪荷重の設定についてということがここに書かれていて、ここに浸水防護施設というタイトルですか、中身としては津波監視カメラですと。 |
| 1:01:17 | いうところで |
| 1:01:20 | 差異のところで、申請後による図書番号の変更という形で書かれていますと。 |
| 1:01:27 | ちょっと、 |
| 1:01:28 | 次に、356ページの、 |
| 1:01:32 | 資料も次見ていただきたいんですけども、 |
| 1:01:37 | 355がタイトルで2.10津波かカメラに関する補足説明っていうところで、 |
| 1:01:46 | 何かこっちについてはすべて読み込みになっていて、 |
| 1:01:50 | 先ほど最初に話した方の106ページの、 |
| 1:01:54 | 風荷重積雪荷重の設定については、 |
| 1:01:58 | 図書番号が変わるんで、 |
| 1:02:00 | 今回ここに、 |
| 1:02:02 | だらだらと記載をしていると。 |
| 1:02:05 | この後の |
| 1:02:07 | 読み込みになっている方、見たんですけど7号のやつを見たんですけども、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:02:12 | そこもおそらくノロ、7号申請時の資料番号は図書番号出てきていて、 |
| 1:02:19 | それもう、 |
| 1:02:21 | なんでしょうね |
| 1:02:22 | 位置付けとしてはこの1.952点、 |
| 1:02:26 | 2.10ですかね、そこも、 |
| 1:02:28 | 中身としては変わらないながらも、その図書番号の違いでこっちの1.9 だけ読み込みとせず、 |
| 1:02:35 | 文章書いているちょっとそこの読み込みの考え方の違いがよくわからな かったんでちょっとそこ説明していただいてよろしいでしょうか。 |
| 1:02:45 | 東京電力の飯村です。そちらですね |
| 1:02:51 | 今回の補足説明資料の中で、1ポツの方、不破、全体に関わるところの 説明とかもあるんで、 |
| 1:03:01 | 当初番号が変わる、関係もあることから、記載が一緒でも、 |
| 1:03:12 | 文面として残しましょうと。 |
| 1:03:15 | いう考えで残してまして、2ポツ以降は、7号機申請の呼び込みという 形。 |
| 1:03:24 | を取らせていただいている項目がございます。といった形で、 |
| 1:03:31 | 整理はさせていただいております。 |
| 1:03:34 | 政治をフカワですちょっと今の整理が私には理解できなかったんですけ れども少なくとも今、この資料内ではそういう整理をしていますと、で、今 回の申請全体で見たときに、 |
| 1:03:46 | その全体の整理としてはそれで合ってるんでしょうか。 |
| 1:03:49 | あくまで我々申請全体で整理が整ってないとちょっと混乱してしまうところ もありますのでやはりそこは申請全体としてしっかり水、 |
| 1:03:58 | しっかりした整理学でやっていただきたいと思ってるんですけどその点 も含めていかがでしょうか。 |
| 1:04:04 | 東京電力井村です。そちらの方はですねちょっと今回の補足説明資料 の方で考えをまとめてしまっているんで、他と整合をとりながらですね記 載の方は、 |
| 1:04:17 | 合わせて直したいと思います。はい。規制庁深井ですわかりました今言 っているところとして図書番号の違いで、ちょっと位置付けが変わる。 |
| 1:04:29 | ているというところが今あって、我々コウんなんか読み込みだ。 |
| 1:04:34 | と思うようなところが、こうやって出てくる等その図書番号以外にも何か 差異があるんじゃないかっていうようなとらえ方もしてしまうんでちょっと そのような誤解を招かないような、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:04:43 | 観点でも今言ったように、今ちょっと中で整理、 |
| 1:04:46 | していただければなと思います。 |
| 1:04:51 | 続いてですけれども、 |
| 1:04:56 | 188 ページお願いします。 |
| 1:05:04 | ここは簡単な確認なんですけども、この |
| 1:05:07 | 一番下の文章の対象となる計算式は |
| 1:05:11 | ここの図書番号で、5 番になってるんですけどこれは、 |
| 1:05:14 | 何でしょうね、ナゴ読っているのが 6 号のモリっているのがちょっと不明確なんで、適正化いただけますか。 |
| 1:05:28 | 対象となる計算式は 6-2 の、 |
| 1:05:31 | 10-2-3-3 で上のところ、 |
| 1:05:34 | 後ですね、 |
| 1:05:36 | 6 ってなっていて、 |
| 1:05:38 | 同じ図書番号だと思うんですけども、 |
| 1:05:41 | 7 号の読み込んで多分後でいいと思うんですけども、ちょっとその差がわからなかったんですけども。 |
| 1:05:47 | 東京電力の吉田です。こちらについてはちょっと確認させていただいて適正化必要であれば、修正させていただきたいと思います。 |
| 1:05:57 | 今回計算書に記載している計算式が、ものによってはその代表だとすると、7 号の時に使っていたし、式と違ったものを今回、 |
| 1:06:09 | 載せてる場合もありますので、そういった意味で、 |
| 1:06:11 | ちょっとこちら、午後、7 号を呼び込んでいるのかと考えてはいるんですけども、 |
| 1:06:19 | そちらをちょっと確認してそうであれば直さないですし、違っていればちょっと適正化したいと思います。規制庁フダセンナナゴ読み込みの時って何かもうちょっと、ナカなんです認可日とかも書いて、 |
| 1:06:31 | とかそのルールあったと思うんでそこがないんでちょっとそういう誤解もあるんでちょっとそこも含めてルール、全体のルールに合ったような規制にさせていただければと思います。はい、承知しました。 |
| 1:06:43 | はい規制庁深井続いて 283 ページお願いします。 |
| 1:06:54 | このページだけじゃなくてちょっとこの後も結構あって気になったんですけども例えばこのページで、柱材のナカマげとかせん断が発生時、急減か横棒で書かれていて、 |
| 1:07:06 | だから検定値が横棒、小なり 1.0 ってあんですけども、発生値、許容限界が横棒横棒だったら検知も横棒になるのかなと思ってこの横棒所 1 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| | 個こういう記載の仕方って一般的なんですが、ちょっとその点を教えてください。 |
| 1:07:22 | 東京電力です今おっしゃってるのはその件、鉄筋コンクリート製セキの組み合わせの検知のところよろしかったでしょうか。 |
| 1:07:32 | 230、283 ページのところ、283 ですいません。 |
| 1:07:41 | はい。東京電力吉田ですがこちらはですね |
| 1:07:45 | 垂直応力とせん断応力がかかった時の組み合わせの許容限界っていうのが後 |
| 1:07:57 | 剛性、 |
| 1:07:58 | 規格の中で定まっています、それでせ、評価していると、なのでそれぞれの、 |
| 1:08:04 | 曲げ応力だったりせん断応力はそれぞれで、すいません。 |
| 1:08:08 | ここ柱材で全部評価がないところを、 |
| 1:08:12 | 何て書いてるんですかっていうところですかね。そこが発生多分評価して横棒になって評価してないのか、それであって検定値も何か横棒で、 |
| 1:08:23 | 1 未満って書いてあって、その中、 |
| 1:08:26 | 横棒なのでそこまでしているのはちょっとわからなかったんです。了解しましたこちらの単純なあの世' で良いと思いますので、記載の適正化を図らせていただきたいと思います。規制庁深井です。ちょっとその後ろのページが結構あったんでそこは、 |
| 1:08:40 | 全体的に見直しをお願いします。はい。最後、 |
| 1:08:45 | 412 ページをお願いします。 |
| 1:08:58 | 2.13 浸水防護施設の耐震計算における土木建物機器の選定というところでここで施設のラインナップあるんですけども、 |
| 1:09:08 | この施設のラインナップの考え方がちょっとわからなくて、 |
| 1:09:12 | というのか、6 号設備だけを書いているのかそれとも 7 号設備のものも含めて書いてあるちょっとそこがわからなかったんで、そこを教えてください。 |
| 1:09:26 | 東京電力の吉田です。 |
| 1:09:29 | こちらの 6 号でも 7 号でもラインナップとしては同様になりますので、それ浸水防護施設を記載しているということになります。 |
| 1:09:39 | 規制庁府川ですちょっとその前の、 |
| 1:09:42 | パートでも話した通り |
| 1:09:44 | それであれば何かの回数処理セキは二つ、6 号 7 号も二つ書いてあって、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:09:51 | ほぼ、 |
| 1:09:52 | 適切なのかなと思ったりもしたんですけれどもそれで、あれですかね、そこはSAもまじると耐震重度分類がSCで丸がつかないとかそういうことなんですかね。 |
| 1:10:11 | あ、すみませんちょっともう一度そのアノんと問題点のところ、お願いします。土木の話になっちゃうかもしれないですけどアノろ |
| 1:10:21 | ここで書いて6号設備とあともう1個7号で、 |
| 1:10:25 | 海水貯留堰あると思うんですけれども、 |
| 1:10:29 | はい。 |
| 1:10:30 | えっと、 |
| 1:10:34 | 東京電力遠藤です。おっしゃる趣旨は理解しました。ですのでちょっと表現として、まずこの表に乗っかってくるのはどういうスコープのものが入ってるかもしくはそれが、 |
| 1:10:44 | 67であれば、6号機設備7号機設備とわかるように表現すると、最後に津波監視カメラも載ってますので7号機設備共用と、そういったところをより適切にですね、表現するように、 |
| 1:10:57 | たいと思います。 |
| 1:10:59 | はい、規制庁返すわかりました。はい。私から以上です。 |
| 1:11:08 | はい、規制庁チギラです。他、 |
| 1:11:21 | 規制庁ツガネです。 |
| 1:11:24 | 359 ページで、 |
| 1:11:30 | 2の中、 |
| 1:11:33 | 数2の中にですね、大物搬入主搬出入口扉については第二課御説明ということで今回、 |
| 1:11:41 | 記載してないということだったんですけれども、今書いてあるその一覧の中にその搬出扉は入ってないということでよろしいですか。 |
| 1:12:02 | すいません。東京電力後藤です。今コメントいただいた通り、この補足説明資料の中には |
| 1:12:09 | 主羽生収入コウ扉については記載をしていないという形になります。 |
| 1:12:15 | 規制庁通です |
| 1:12:17 | 前もどこかでお話したと思うんですけれども搬入建屋については今後出てくるんで、 |
| 1:12:23 | 全くないわけじゃなくてやはり項目として挙げておいて、ツジといった形で、今後出てくるというふうなことがわかるようにしといた方がよろしいかと思うんですけれどもいかがでしょうか。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:12:34 | 東京電力五島です。コメントありがとうございます。おっしゃる通りだと思いますので、そのような記載がわかるように、ちょっと補足説明資料の方も記載を追記させていただきたいと思います。よろしくお願いします。 |
| 1:12:45 | 規制庁津田ですよろしくお願いします。 |
| 1:12:47 | 続いて 413 ページ。 |
| 1:12:51 | 2 ポツ 14 地下水排水設備、サブドレンポンプの加振試験に関する補足説明なんですけれども、 |
| 1:12:57 | 先ほど差異のところ、特に違いはないと、変更なしという説明があったんですけれども、 |
| 1:13:03 | そもそもこのサブドレンポンプ自体が、 |
| 1:13:07 | 6 号 7 号で、 |
| 1:13:08 | 同じものを言ってるのか |
| 1:13:13 | 別々のものなんだけどやることが同じなのかその点はいかがでしょうか。 |
| 1:13:18 | 東京電力吉田です。物自体は全く一緒なんですけれども、6 号で期待するポンプと、7 号で期待するポンプは別というところになります。 |
| 1:13:30 | 規制庁柘植です。今の説明ですとその 67 号共通のものというよりはこれは 6 号設備であって、ものとしては 7 号と同じなんだけれども、6 号として独自に加振試験やってるので、資料としてつけていて、 |
| 1:13:43 | やってるその試験の中身というか評価については結局 7 号とそんなになることは変わらないと。 |
| 1:13:48 | そういう理解でよろしいでしょうか。東京電力の吉田です。物自体は全く同じで、もともと 6 号と 7 号の波の包絡派を使って加振試験してたので、加振試験結果も一緒というところでは。 |
| 1:14:06 | 規制庁柘植です。 |
| 1:14:08 | 東京電力遠藤です。ちょっとアノカミヤ谷あったので、ものは同型のポンプですんで今ほど申しました通り、アカシは、六、七の包絡する波でやりましたので試験は 1 回しかしておりません。 |
| 1:14:22 | なので同型のポンプなものを設置するし、波を包絡して確認できているので、もうすでに 7 号機でご説明したもので、今回も 6 号は、 |
| 1:14:32 | 説明させてもらってるという内容でございます。 |
| 1:14:37 | 規制庁柘植です今、説明は理解できて、理解できたんですけれども、それであれば 7 号の、 |
| 1:14:44 | その補足説明書なりを読み込めばそれで済んでしまうのかなとも思われたんですけどもその点はいかがですか。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:14:51 | はい。東京電力エンドウです。先ほどの読み込みのお話もありましたのでちょっと税、社内ですね、全体的な資料の作り込みのルールをちょっと統一させていただきまして、必要に応じてこれを読み込みするとか、 |
| 1:15:05 | もしくはもう書くのであれば、なぜ書くかみたいなのところを明記した上でですね、ご説明させていただきたいと思います。 |
| 1:15:11 | きちっと使えますはい、了解しました。私からは以上です。 |
| 1:15:18 | はい、規制庁議連担当服部です。まず確認なんですが、先ほど後日、話のあるっていった項目、何点か挙げられたんですが、 |
| 1:15:29 | 2.12 は、これは後日はなくて、ここで質問を出しといた方がいいんでしょうか。 |
| 1:15:43 | 東京電力の飯村です。2.1 に水密扉の設計に関する補足説明は本日この後、経産省の説明もありますので。でも、質問に関しては、 |
| 1:15:57 | こちらで、 |
| 1:15:58 | 大丈夫です。 |
| 1:16:00 | はい。それでは 379 ページを規制庁ハットリですけど、379 ページお願いします。 |
| 1:16:08 | 詳細な計算書を見ないとわからないんですが、えっとですね。 |
| 1:16:13 | 入力値のところ対象部位上から二つ目と、 |
| 1:16:19 | 扉板、これの一番下に断面係数出てます。そのあと、新材。これも上から四つ目、断面係数が出てるんですが、 |
| 1:16:30 | 扉板と新材で断面係数の単位が違ってて、 |
| 1:16:35 | この |
| 1:16:36 | 基本的には長さの 3 乗だと思うんですが、扉板の方がパーメーターについてるのが、 |
| 1:16:43 | これは何か単位長さ当たりのというような計算式で使ってるということでしょうか。 |
| 1:16:54 | 東京電力五島です。今コメントいただきました内容については、扉板でzワンでパーメーターがついているというところにつきましては、単位長さ当たりという認識で、認識層厚ございません。 |
| 1:17:09 | 既設ハットリです。そうすると、定義のところ、何かそこがわかるようにしといた方がよろしい。これは同じ断面係数で次元が違っているので、 |
| 1:17:21 | この辺いかがですか。 |
| 1:17:24 | 承知しました補足説明資料の方でもちょっとわかりやすく、わかるように、記載をさせていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| | はい。施設あたりです。これがですねそのページ、このページ以降もかなり繰り返し出てきます。 |
| 1:17:40 | はい。 |
| 1:17:41 | すいません。ご検討よろしく申し上げます。 |
| 1:17:45 | 東京電力大戸です。承知いたしました。はい。とりあえず私からは以上です。 |
| 1:18:07 | 規制庁の江寄ですけど、ちょっと前に戻っちゃうんだけど、ちょっと教えて欲しいんだけど。 |
| 1:18:11 | ②番の死亡資料D、例えば、 |
| 1:18:15 | 11 ページ。 |
| 1:18:19 | 水槽、 |
| 1:18:20 | 水系の話で、 |
| 1:18:23 | 水系の話で |
| 1:18:26 | 先ほどさらっと説明があっただけなんだけど、いわゆる今回 6 号機の中では、 |
| 1:18:31 | 一応申請対象になってて、 |
| 1:18:33 | アオキのところでは並木ん記載になってるんだけど、その辺のちょっと理由とか、事情をちょっと、経緯をちょっと教えて欲しいんですけど。はい。東京電力の志田です。 |
| 1:18:44 | これも取水槽水位計については 7 号も 6 号もあったんですけども、評価として、何名のジャンルで評価させるかというところがありまして、7 号の時には、 |
| 1:18:55 | 貫通部止水処置、アノのチャンピオンでもあったので、貫通部止水処置の計算書の方で示してございました。 |
| 1:19:01 | 一方で、今回、6 号では、チャンピオンとしては他の貫通部なんですけれども、取水槽水位計としての計算も出す必要があるというところで、 |
| 1:19:12 | 今回、記載をさせていただいたというものです。 |
| 1:19:19 | ちょっと経緯がですね、わかりにくいので、 |
| 1:19:22 | だから、何かすごいなんか、ナゴ期の時はなんかね、網羅性が欠けてたのかように見えねえ。明確でしたので、それで実質的にはですね、そ、ちゃんと貫通部主張で計算書とか、 |
| 1:19:36 | そういったものを指揮してるけど、その区分のところが違うってことですよ。その辺はちょっともう少し、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:19:45 | 詳しく書いていただいてわかりやすく書いていただければと思います。 はい。承知しました我々としてもちょっと記載が不十分だったと考えておりますので、次回適正に修正させていただきます。 |
| 1:20:03 | はい、規制庁チギラです。他、よろしいでしょうか。 |
| 1:20:08 | それで、すいません。今日後半に、計算書ということで扉関係の計算の内容露見チームだけ聞く形になっているんですが、 |
| 1:20:21 | この内容は基点を関係しますので、ちょっと資料、こちら準備させていただいてちょっと休憩挟んさせていただいて、それで、後半、 |
| 1:20:35 | 進めたいと思いますがよろしいでしょうか。 |
| 1:20:39 | はい。東京電力芦田です。よろしくお願いします。 |
| 1:20:42 | はい、わかりました。 |
| 1:20:44 | それではヒアリングの方、休憩を入れたいと思いますので、よろしくお願いします。 |
| 1:20:51 | はい。規制庁の千明です。それでは、ヒアリングの方を再開いたします。引き続き、説明の方をお願いします。 |
| 1:20:59 | はい、東京電力の藤岡です。 |
| 1:21:01 | それでは資料 8 から資料 16 まで、一通りご説明させていただいてそのあとご指摘いただくという流れです。 |
| 1:21:11 | 進めたいと思います。 |
| 1:21:15 | それでは資料No.8、資料番号KK6. の 2-042-2 改 0 |
| 1:21:24 | 6-2-10-2 の |
| 1:21:26 | 2-1 水素主盤の耐震性についての計算書についてご説明させていただきます。 |
| 1:21:33 | 本当所における評価の考え方や方法につきましては、7号機とほとんど同じになってございますので、変更点をメインにご説明させていただければと思います。 |
| 1:21:44 | まず、2 ページをご覧ください。 |
| 1:21:48 | 図 2-1 に取水槽閉止盤の設置位置を示させていただいております。 |
| 1:21:55 | 筒井宗平シバにつきましては、タービン建屋の地下 1 階に 5ヶ所設置しております。 |
| 1:22:03 | 3 ページをご覧ください。 |
| 1:22:06 | 表。 |
| 1:22:07 | 2-1 に取水槽閉止版の構造計画をお示しております。 |
| 1:22:13 | 構造自体は 7号機と同様でスキンプレートに繁田を組み合わせた閉止版をアンカーで、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:22:19 | 床や壁に固定するといった構造になっています。 |
| 1:22:23 | ただここで、7号機との差異としまして6号機では、 |
| 1:22:28 | イトウ壁の方にもアンカーをとっているというところで差異がございます。 |
| 1:22:34 | で、4ページをご覧ください。 |
| 1:22:37 | 図の2-2に耐震評価フローをお示しております。 |
| 1:22:41 | 評価の流れは7号機のとおりですが先ほど、 |
| 1:22:45 | ご説明させていただいたように壁にアンカーをとっているということで、若干、評価式について差異がございますのでその点についてちょっとご説明させていただきます。 |
| 1:22:56 | 26ページをご覧ください。 |
| 1:23:03 | 26ページがアンカーボルトの水平方向力に対する検討。 |
| 1:23:10 | お示している部分になっています。 |
| 1:23:14 | 等図の5-4をご覧ください。 |
| 1:23:19 | と上側がNS方向の荷重時で下側がEW方向の荷重時になっているんですけども、まず、 |
| 1:23:26 | 上側のN-S報告荷重時でAを例にご説明させていただきます。 |
| 1:23:32 | 右側のほうに矢印で荷重方向を示してますけれども、 |
| 1:23:37 | こちらの方向の力に対して図でいうと、壁。 |
| 1:23:42 | 上側の壁に設置してるアンカーはせん断で抵抗して、図でいくと左側の壁に設置してるアンカー引っ張りで抵抗することになると。 |
| 1:23:52 | ということで、上の式で示しておりますように検定としましては引張とせん断合計して、どう評価を行うといった点が、7号機との違いになっています。 |
| 1:24:06 | 次のページ27ページに鉛直方向力に対する検討を持つお示しておりますが先ほど説明させていただいた通り、考え方同じ。 |
| 1:24:16 | 水平方向と同じでございます。 |
| 1:24:19 | 最後に結果をご説明させていただきます。30ページをご覧ください。 |
| 1:24:26 | 表の6-1に評価結果をお示しております。 |
| 1:24:30 | 表の一番右の検定値をご覧、 |
| 1:24:34 | ください。 |
| 1:24:35 | いずれもAと1以下であることから、発生応力が許容限界以下であることを確認しております。 |
| 1:24:43 | この年につきましては以上です。 |
| 1:24:46 | 説明者交代させていただきます。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:24:51 | 東京電力後藤でございます。 |
| 1:24:54 | 私から、資料No.9 ですね、KK6.2-042-3 角扉の耐震性についての計算書についてご説明させていただきます。 |
| 1:25:05 | 流れにつきましては、先ほど藤岡が言った通り経営 7 との比較、最後ある部分についてにご説明させていただきます。 |
| 1:25:12 | よろしくお願いいたします。 |
| 1:25:15 | 1 枚めくっていただきまして、1 ページ目概要になっております。 |
| 1:25:19 | 本計算書につきましては、設計用地震力に対して十分な構造強度及び被水性を有していること、溢水伝播を防止する機能を維持するために十分な構造強度を有していることを説明する資料となっております。 |
| 1:25:35 | 続きまして 2 ページ目ですね、表の 2-1。 |
| 1:25:39 | から、続いて、 |
| 1:25:43 | 14 ページ目までですね、今回の対象の鷺見トビアスイマセ 15 ページ目までに、今回、検討対象とした水密扉の設置位置、 |
| 1:25:54 | こちらの方を記載させていただいております。 |
| 1:26:00 | 続きまして 18 ページ目になります。 |
| 1:26:04 | 図の 2-6、水密扉の耐震評価フローとなっております、 |
| 1:26:09 | こちらで衛藤号機の修正になります。 |
| 1:26:12 | 先ほど、方針の方でご説明させていただいたんですけども、概ね羽生建屋の建て替えに伴って、ものについては今回の申請の対象。 |
| 1:26:22 | 彼女が除かせていただきまして、後段で説明するという話にさせていただいたんですけども、右上の、 |
| 1:26:31 | 上から 6、 |
| 1:26:32 | 5 行目ですね、6-2-9-3-1、原子炉建屋原子炉区域G格納施設の耐震性についての計算書、こちらについては、大物搬入建屋の設計に用いる |
| 1:26:44 | 図書になっておりましたので、こちらの方すいません削除になります。後日修正して提出させていただきます。申し訳ございません。 |
| 1:27:00 | 爪使っていただきます。 |
| 1:27:05 | 最後のページなんですけども、P51 ページになります。 |
| 1:27:11 | 5 ポツ評価結果としまして、表の 5-1 に、今回、抽出した、 |
| 1:27:19 | と先ほどの鷺見飛田の一覧の中から評価が一番厳しいものを、 |
| 1:27:25 | 6 扉ですね、抽出してございましてそちらの方の断面決定結果の方を記載しております。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:27:33 | 結果としましてはすべて発生応力度また発行力、応力度または応力に対して許容限界が、下回るとは許容限界値を下回ることを確認してございます。 |
| 1:27:47 | こちらの資料についてはご説明以上になります。 |
| 1:27:52 | 続かせていただきます。 |
| 1:27:55 | 続きまして、資料ナンバー10番になります。KK6.2-042-4回0。 |
| 1:28:02 | 6-2-10-2-3-2、水密扉付セキの耐震性についての計算上についてご説明させていただきます。 |
| 1:28:14 | 一番最初に目次になりますが今黄色ハッチングさせていただいておりますが今黄色ハッチングさせていただきます。こちらのほうがですねページ番号がちょっと一つずつずれておまして、こちらの方へと修正させていただきます。申し訳ございません。 |
| 1:28:27 | 次のページになります。1ぽつ概要となっております。 |
| 1:28:31 | 本資料がですね、基本、基準地震動Ssによる地震力に対して溢水伝播を防止する機能を維持するために、十分な構造挙動を有することを説明する資料となっております。 |
| 1:28:43 | 次のページになります。 |
| 1:28:45 | 2ポツ、一般事項としまして今回の評価対象の精密扉つき隣石。 |
| 1:28:51 | の一覧となっております。 |
| 1:28:53 | 今回対象としては三つになります。 |
| 1:29:11 | P14ページになります。 |
| 1:29:16 | 3ポツ1ポツ1の2段目の一番上のモデルの記載なんですけども、こちらの黄色ハッチングさせていただいております、Tallの字が抜けておりますのでこちら追記させていただきます。 |
| 1:29:31 | 改めて資料ご説明させていただきます。 |
| 1:29:35 | 43ページ目になります。 |
| 1:29:46 | すいません。41ページ目、すいません、申し訳ございません、41ページ目になるんですけども、4ポツ後の評価条件につきまして表の4-4、鷺見扉部の耐力、耐震評価に用いる入力値。 |
| 1:29:58 | になるんですけども、こちらの単位の部分の記載が誤記ございますので適正化として修正させていただきます。ごいません。 |
| 1:30:08 | 最後43ページになります。 |
| 1:30:11 | 5ポツ評価結果としまして表5-1に水密扉部の耐震評価結果。 |
| 1:30:17 | 次のページ44ページ目に表の5-2に止水部の足セキ部の耐震評価結果のほうを記載させていただきます。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:30:26 | こちらすべて基準地震動Ssによる地震力に対して、 |
| 1:30:29 | 発生応力度または荷重掛け限界以内であることを確認してごさいます。 |
| 1:30:37 | こちらの資料についても説明以上になります。 |
| 1:30:44 | 続けてご説明させていただきます。 |
| 1:30:48 | 資料No.11、KK6.2-042-5。 |
| 1:30:52 | 甲斐0。 |
| 1:30:53 | 6-2-10-2-3-3 酒々井セキの耐震性についての計算書についてご説明させていただきます。 |
| 1:31:03 | ページ1枚めくっていただきまして、一つ概要になります。 |
| 1:31:08 | 本資料が溢水伝播防止堰について、基準地震動Ssによる地震力に対して、管理区域外伝播防止堰については、 |
| 1:31:16 | 閉、 |
| 1:31:17 | 耐震Bクラスの施設に適用される地震力SDに対して溢水伝播を防止する機能を維持するために十分な構造強度を有することを説明する資料となっております。 |
| 1:31:27 | またセキは設計基準対象施設においては耐震Bクラス施設及び耐震Cクラス施設と分類しております。 |
| 1:31:35 | 2ポツ1。 |
| 1:31:37 | この表の2-1ですね検討対象セキとなっております、 |
| 1:31:41 | 合計で48セキが今回の検討対象となっております。 |
| 1:31:51 | 今回セキの構造としましては、 |
| 1:31:54 | P12ページになりますが、 |
| 1:31:58 | 表の2-2に記載しておりますL型高成績表、次のページ、 |
| 1:32:03 | 2飛びまして表-2-3、構成落とし込みセキ。 |
| 1:32:07 | 次のページにいきまして表の2-4-1。 |
| 1:32:10 | 鉄筋コンクリート製成績、 |
| 1:32:13 | 次のページいきまして、表の2-5。 |
| 1:32:16 | 後半組み合わせセキの4種類となっております。 |
| 1:32:25 | こちらのセキにつきましても、P31ページ目になります。 |
| 1:32:35 | 表の4-1。 |
| 1:32:37 | 以降ですね、今回の評価対象とするL型好成绩。 |
| 1:32:42 | 構成落とし込みセキ鉄筋コンクリート製セキ鋼板組み合わせセキの選定結果の方載せておりまして、こちらのマルがついてる部分について、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| | 最も寄与が厳しい評価対象部位を有するセキとして選定してまして今回の代表セキとして検討しております。 |
| 1:33:07 | 65 ページ目になります。 |
| 1:33:11 | ボツ評価結果となっております、 |
| 1:33:15 | 表の 5-1 から、 |
| 1:33:17 | 表 5-4 ですね。 |
| 1:33:19 | の方に構成落とし込みセキ、鉄筋コンクリート製セキL型好成績及び鋼板組み合わせセキの耐震評価結果を記載しております。 |
| 1:33:29 | すべてのセキに対して基準地震動 S_s に対してですね。 |
| 1:33:33 | 発生値が許容限界値、教育委員会以内におさまることを確認しております。 |
| 1:33:41 | 膝石の耐震性の計算、耐震性についての計算書の説明については以上になります。 |
| 1:33:47 | 次の資料については、説明者交代させていただきます。 |
| 1:33:56 | 東京電力の藤岡です。続きまして資料No.12。 |
| 1:34:01 | KK6. -3-015-4 回 0。 |
| 1:34:07 | 登録の 3 の別添の 3-1-4、取水槽閉終盤の強度計算書についてご説明させていただきます。 |
| 1:34:15 | 本書では津波時の突き上げ荷重、 |
| 1:34:19 | と、SDによる余震を考慮した荷重に対して取水させシバんのと強度評価を行うといった所になってございます。 |
| 1:34:29 | あと、2 ページをご覧ください。こちらに示しております配置概要ですとか、 |
| 1:34:36 | 次の 3 ページに示しています行動計画は先ほどご説明した耐震の計算書と同じですので割愛させていただきます。 |
| 1:34:44 | 4 ページをご覧ください。 |
| 1:34:48 | 評価のナゴ流れにつきましては、7 号機と同様ですので、ご説明は割愛させていただきますが、 |
| 1:34:55 | こちら耐震の場所でご説明させていただいた通りアンカーを打っている位置が、 |
| 1:35:01 | 異なるということで、こちら検定の |
| 1:35:04 | 方法は、 |
| 1:35:05 | 関わっていると、いったものになっております。 |
| 1:35:10 | 最後の結果についてご説明させていただきます。 |
| 1:35:15 | 27 ページをご覧ください。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:35:19 | 表の 5-1 にすべての閉止版の評価結果をお示ししております、 |
| 1:35:25 | 一番右側の検定値をご覧くださいますといずれも 1 以下になっている ということを確認しております。 |
| 1:35:35 | この資料につきましては以上です。説明者交代いたします。 |
| 1:35:42 | たびたび、失礼します。東京電力五藤と申します。 |
| 1:35:45 | 続きまして資料ナンバーが 13 番になります。 |
| 1:35:51 | KK6.3-015-506-3 の別添 3-1-5、精密扉の強度計算書について ご説明させていただきます。 |
| 1:36:05 | 1 ページめくっていただきまして概要になります。 |
| 1:36:09 | 本資料がタービン建屋に設置する水密扉ですね、津波に対するツツミ 津波による溢水、または内部溢水の浸水によって生じる浸水深さが大 きい方の静水圧荷重、 |
| 1:36:20 | 及び余震を考慮した荷重に対して、 |
| 1:36:23 | タービン建屋内に浸水することを防止するために十分な構造健全性、 及び止水性を有することを説明するものとなっております。 |
| 1:36:33 | 次のページになりまして、 |
| 1:36:35 | 2 ポツ 1、検討対象 Smith 扉一番となっております。 |
| 1:36:39 | 今回検討対象としまして、 |
| 1:36:41 | 15 個の水密扉を検討対象としております。 |
| 1:36:53 | ページ飛びまして、 |
| 1:36:56 | ページ番号は 33 番になります。 |
| 1:37:00 | 3 ポツ 6、評価結果となっております、 |
| 1:37:03 | 表の 3-8 に水密扉の強度評価結果の一覧を載せてございます。 |
| 1:37:10 | こちらにつきましても、先ほどご説明した通り、各部位の断面検討を行っ た結果ですね、発生値、 |
| 1:37:17 | が影響限界値を下回ることを確認してございます。 |
| 1:37:23 | 本資料についての説明は以上になります。 |
| 1:37:28 | 続きまして資料 No.14、KK6.3-015-1006-3 の別添 3-2-2。 |
| 1:37:39 | 水密扉の強度計算書の溢水についてご説明させていただきます。 |
| 1:37:48 | 1 ページ目、めくっていただいて、1 ポツ概要となっております。 |
| 1:37:56 | 本件社長がですね補正を想定する溢水による衛生水圧荷重に対して 止水性の維持を考慮して、主要な構造部材が構造健全性を維持するこ とを説明する部署となっております。 |
| 1:38:11 | 次のページになります。 |
| 1:38:14 | 2 ポツ 1、検討対象の水密扉一覧となっております、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:38:19 | ページ 4 ページ目まで一覧載っております、 |
| 1:38:22 | 今年は 61、水密扉ですね、以降、 |
| 1:38:26 | 61 コウ記載をしております。 |
| 1:38:36 | 27 ページ目になります。 |
| 1:38:44 | 3 ポツ強度評価方法としまして 3 ポツ 1 に評価対象部位を記載しております。 |
| 1:38:51 | タイか何か 2 段目になりますが、今回結果が最も厳しい評価対象部位を有する水密扉を代表として評価するものとして、 |
| 1:38:59 | 今回、記載、下記に記載の 6 扉を注意してございます。 |
| 1:39:07 | これコピーを、47 ページ目になります。 |
| 1:39:15 | 3 ポツ 6、評価結果となりまして、 |
| 1:39:19 | 表の 3-5 水密扉の強度評価結果として記載をしております。 |
| 1:39:26 | 今回ダム決定を行った結果発生応力度または荷重に対して影響限界以下であることを確認してございます。 |
| 1:39:36 | こちらの資料の説明につきましても、以上になります。 |
| 1:39:42 | 続きまして、資料ナンバー15、 |
| 1:39:45 | KK6.3-015-11。 |
| 1:39:50 | 6-3 の別添 3-2-3、水密扉付隣石の強度計算書についてご説明させていただきます。 |
| 1:40:01 | 1 枚めくっていただきまして 1 ぽつ概要となっております。 |
| 1:40:08 | 本計算書が、発生を想定する溢水による静水圧荷重に対して、溢水伝播を防止する機能を維持するとともに、 |
| 1:40:15 | 十分な構造強度を有することを説明する図書となっております。 |
| 1:40:22 | 次のページになります。 |
| 1:40:24 | 2 ポツ 1 検討対象の水密扉付隣石の一覧を記載しております、今回三つの水密扉つき隣石負荷対象となっております。 |
| 1:40:38 | 続きましてP14 ページ目をご覧ください。 |
| 1:40:47 | 3 ポツ 2 ポツ 2 の上の 4 行目の段落ですね、なお書き以降になります。 |
| 1:40:54 | 溢水による浸水深さのうち原子炉建屋に設置する水密扉付水セキは保守的に堰天端高さとして設定して、タービン建屋に関しましては、 |
| 1:41:04 | 扉閉止向きの溢水評価水位 0.3 メートルに対して 1 メートル、扉開放向きの溢水評価水位、0.9 メートルに対して 2 メートルとして、保守的な設備設定として評価をしております。 |
| 1:41:27 | 続きましてページ 33 ページ目になります。 |
| 1:41:33 | 4 ポツで評価結果となっております、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:41:36 | 表 4-1 で水密扉部の強度評価結果、 |
| 1:41:41 | 次のページの表の 4-2 について、取水堰部の強度評価結果を記載しております、いずれも、 |
| 1:41:49 | 発生応力度、また荷重に対して、許容限界値以内であることを確認してございます。 |
| 1:41:56 | 本資料についての説明は以上になります。 |
| 1:42:00 | 本日最後の資料になります。 |
| 1:42:03 | 殊、No.16 ですね、KK6.3-015-12 回 0。 |
| 1:42:09 | 6-3 の別添 3-2-4、止水セキの強度計算書についてご説明させていただきます。 |
| 1:42:19 | 1 枚めくっていただきまして、1 ポツ概要となっております。 |
| 1:42:24 | 浸水防護施設である溢水伝播防止堰、及び管理区域外伝播防止堰、 |
| 1:42:30 | について、発生を想定する溢水による制圧荷重に対して止水性の維持を考慮して、主要な構造部材が健全、構造健全性を維持することを確認するという所となっております。 |
| 1:42:43 | 2 ポツ 1、検討対象のセキ一覧となっております、 |
| 1:42:47 | 今回検討対象のセキとしましては、合計で 74、5 となっております。 |
| 1:42:57 | ページ飛びまして 66 ページ目になります。 |
| 1:43:03 | 4 ポツ評価結果となっております、 |
| 1:43:06 | 減り方、 |
| 1:43:08 | 工程セキ。 |
| 1:43:10 | 構成落とし込みセキ、鉄筋コンクリート製成績、 |
| 1:43:14 | 鋼板組み合わせセキ。 |
| 1:43:15 | につきまして、表の 4-1 から表の 4-4 の方で強度評価結果を記載してございます。 |
| 1:43:23 | 結果としまして、発生値、 |
| 1:43:26 | すべて許容限界値以下であることを確認してございます。 |
| 1:43:31 | 説明に関しましては以上になります。 |
| 1:43:35 | はい。規制庁照屋です。それでは、今説明がありました資料の 8 番から 16 番に関して確認する点がある方お願いします。 |
| 1:43:46 | 規制庁の江崎です。はい。 |
| 1:43:49 | あとですね耐震計算のところ |
| 1:43:55 | 負債がある記載だけの話ですよ。 |
| 1:43:59 | 普通は今ちょっと確認ですけど、 |
| 1:44:01 | ⑩の例えば、資料で 18 ページで、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:44:06 | ここで |
| 1:44:08 | 固有周期 20Hz以上なんで、 |
| 1:44:11 | 加速度をタービン建屋の仕事会社から出している。これ 20Hz以上だから、趣旨としては、最大応答加速度を物から読み取ってますってことですよね。 |
| 1:44:23 | それで、 |
| 1:44:24 | それは確認したんですけど、ここで注記ですね、NSEW方向の沖を採用する、採用するですかって書いてあって、 |
| 1:44:34 | 例えば⑨番の 35 ページ。 |
| 1:44:38 | 多分これも一緒なんですよ。 |
| 1:44:40 | だから、多分それを全部一緒なんや、確認したんで、 |
| 1:44:45 | いわゆる呉、おんなじように帰ってくださいって話で、 |
| 1:44:51 | もう 1 個 \$ だったかな。 |
| 1:44:53 | いわゆる最大応答加速度を採用してEWNSの水平方向の最大値を、 |
| 1:44:59 | 取るといった話がですねあと⑧番か、⑧番の 15 ページも書いていないので、書いてあるものと書いてないものがあるので、その |
| 1:45:10 | 差がないように記載してください。よろしいですか。 |
| 1:45:17 | 東京電力古藤です。コメントの趣旨、承知いたしました。 |
| 1:45:22 | よろしくお願いします。 |
| 1:45:23 | それで一方で今度は津波の方、強度計算書の方の、12 番なんですけど、ここの 9 ページで言っている、 |
| 1:45:33 | まず式の出典はよく見る式だけど今年言ったって何でしたっけ。 |
| 1:45:39 | 数字公式集か何か出てるんでしたっけ。 |
| 1:45:42 | 9 ページ、 |
| 1:45:44 | 12 ページ、12 番のですね |
| 1:45:48 | 取水槽閉止版の 9 ページ。 |
| 1:45:52 | 京都計算の、 |
| 1:45:56 | 両括弧 1 の突き上げ、津波荷重のPTを求める式、 |
| 1:46:02 | この出典って何か |
| 1:46:04 | あるんでしたっけ。 |
| 1:46:09 | はい、東京電力の藤岡です。 |
| 1:46:12 | ご指摘のところですが、 |
| 1:46:16 | 出典あると思いますので、一生懸命を変えていただくことで書いていただくのと、あとコールケース 2.0 時っていうのこれはそう。 |
| 1:46:26 | 公式の中で、もう、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:46:29 | あれ何でしたっけ確定値なんでしたっけ。そう。東京電力の藤岡です。 |
| 1:46:36 | そういうやつを受ける形状によっていろいろな対応をとることになってるんですけども、その中で縦横比ですが、 |
| 1:46:43 | そういったパラメーターでちょっと変わってくるんですけどもここでは、保守的な、 |
| 1:46:48 | 2.01 っていう値をとってる。 |
| 1:46:51 | 2.01 と設定した。 |
| 1:46:53 | 経緯がわかるように、ちょっと記載を加えていただいて、 |
| 1:46:57 | あともう 1 個、流速あるじゃないですか、1.5 メーター / sec。 |
| 1:47:02 | これでね、基本的どこから来たのかなっていうことで、上の方の 6-3 の別添 3-1-1-1。 |
| 1:47:10 | 鍛冶のところ見ていってもそこで出てるわけではないし、 |
| 1:47:13 | どこを見たらいいのかっていう話。 |
| 1:47:17 | 話ですねそれでその時に、 |
| 1:47:20 | 多分し、うん。 |
| 1:47:23 | 入力津波の設定のところ、赤間高沢でくるけどあまり流速ってあまり出てこないんですよ。 |
| 1:47:29 | そこで何か、どのようにこれ算定したのかってのがわかるようにしていただだけますか。いわゆる、 |
| 1:47:34 | 多分その位置だとか流速くうだから、そ、同じ市だとそこを負担してたりしてるから、 |
| 1:47:41 | 基本的には速度 0 の定義がゼロになる加速度ゼロになっちゃうんですけどこか。 |
| 1:47:46 | ちょっと水槽の中で一番厳しいところ、大きいところをとってると思うんですけど、 |
| 1:47:50 | そういったその産出位置だとか、あと基準津波のケース、 |
| 1:47:54 | 3 パターンあるじゃないですか、多分一番じゃないけど、基準津波 1 かなんかだと思うんですけど。 |
| 1:47:59 | 基準津波 1 が確かあれですよ。 |
| 1:48:02 | 運動やったっけ。 |
| 1:48:05 | 江藤島縁部かなんかのツツミですよ。 |
| 1:48:08 | だからその基準津波、直近のものオノ。 |
| 1:48:12 | 直近海域っていうか、前面海域の断層のものか、またちょっとソフトに種類、三種類あったと思うんで確か記憶だと、どんどん基準津波のものであって、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:48:24 | 当然その相馬クシダあるとの位置でのマックスであるっていう。 |
| 1:48:28 | ことをどのように考察したかっていうその経緯ですよね。それをちょっとわかるようにしといてもらえますか我々としてもそれを確認するのが仕事なんで、すみませんがおつき合ください。 |
| 1:48:39 | 東京電力藤岡です。ご指摘ありがとうございます。こちらは管路解析の結果から丸めて1.5と設定してございますので、そちらについては、 |
| 1:48:49 | パッと見で全然根拠が示されていませんでそこら辺を追記して、 |
| 1:48:54 | あと説明しやすいようにと、追加したいと思います。 |
| 1:48:57 | よろしく願います私からは以上です。 |
| 1:49:03 | はい、規制庁違いです。他、 |
| 1:49:15 | 規制庁のフカワですええと、2点ほど確認しますまず一つ目資料。 |
| 1:49:20 | 9 願います。 |
| 1:49:25 | 水密扉の耐震性の計算書で、1 ページ。 |
| 1:49:31 | ヒライお開きください。 |
| 1:49:36 | 理事 1 ページで概要が示されていて下の方で、 |
| 1:49:41 | 7号機設備の耐震性はアノナゴを読み込みということが書いてあるんですけれども、 |
| 1:49:48 | その次のページ、 |
| 1:49:50 | 2 ページですかね、この表の 2-1 は、 |
| 1:49:53 | おそらく 56 号機分のものしか出てなくてその今言った読み込みになってるもん水密扉は出ていないと思うんですけれども、 |
| 1:50:01 | まず本体の 6 号申請に対象となる水密扉の全体像が、 |
| 1:50:06 | ちょっとここでは何も見えないので、 |
| 1:50:09 | この表の 2 の一番なんかで一般示して、その耐震性の評価についてはそのナゴ読み込みっていうのはわかるっていう流れだったらわかるんですけどちょっとこの、まず、そもそもの対象の整備面が何かっていうのがわかんないんでちょっとこの、 |
| 1:50:22 | 2 ページ 3 ページに示すのはちょっとそこら辺、 |
| 1:50:26 | 検討いただけますでしょうか。 |
| 1:50:30 | 東京電力古藤です。今のコメントの趣旨としましては、7号機設備六、七共用設備って呼び込みになってるけど、 |
| 1:50:38 | 次のページの 2 ポツ 1 で一覧表に入っていないよねっていうことだったのでこちらの方で、改めて 7 号機設備六、七共用設備につきましても、記載をさせていただいてご説明させていただく、耐震計算書については 7 号機の呼び込みですよという趣旨で、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:50:52 | 記載するように、記載を適正化させていただきます。規制庁不破です。他野瀬資料でもし何かすでに示されてるんだったらいいんですちょっと、今のところそういうものを見ていないので、 |
| 1:51:04 | ちょっとここでコメントしたんですちょっとその、まず全体像が見えたらいいなというところで、コメントしました。で、多分他の資料も確かあって、資料重要だったと思うんでそこも同じ話があるんでそこは水平展開してもらえればなと思います。 |
| 1:51:18 | あと、資料 13 番をお願いします。 |
| 1:51:27 | 13 番の 32 ページをお願いします。 |
| 1:51:33 | 簡単な確認なんですけれども |
| 1:51:36 | 水密扉No.のTB、 |
| 1:51:40 | B2、 |
| 1:51:41 | 組み替えの 2 番のところで、 |
| 1:51:44 | その下、 |
| 1:51:45 | 扉板とか芯材の辺リアノ×10ー。 |
| 1:51:49 | 4 乗ってというのが多分これ 104 とか 105 とか数字が落ちちゃってるところは、単純な誤記という言い方よろしいでしょうか。 |
| 1:52:14 | すいません東京電力五島です。内容確認いたしました動きだと思えますので、修正させていただきます。申し訳ございません。はい、規制庁わかりました他の資料で幾つか散見されるのは全体として確認いただければと思います私から以上です。 |
| 1:52:32 | はい。規制庁、吉良です。他、確認する点あるかな。 |
| 1:52:45 | 規制庁津金です。⑨番の資料。 |
| 1:52:50 | 水密扉の耐震性についての計算書の 1 ページ目なんですけれども、 |
| 1:52:54 | 概要のところはこちらの耐震クラス書いてないんですけれども、耐震クラスは何なんでしょうか。 |
| 1:53:12 | 東京電力の吉田です。耐震クラスについてはですね先ほどの耐震計算結果という資料の方に記載をさせていただいております、 |
| 1:53:21 | ざっくりというと、津波バウンダリを守るために必要な設備は、津波防護施設になるので、Sクラスと、 |
| 1:53:29 | 溢水だけを止める設備であれば、基本Cクラスなんですけれども、 |
| 1:53:34 | 地震起因性を止めるものについては、Ss機能維持、CクラスのSs機能維持と、 |
| 1:53:40 | それぞれに全く関係ない単純な想定溢水とか、 |
| 1:53:45 | 紹介水だけを止める先については、Cクラスと、そういうことになります。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:53:49 | そしてちょっとすいません今その耐震クラス別のところに書いてあるって おっしゃったんですけれども、例えば 8 番の資料、他は、 |
| 1:53:58 | 一応この計算書の方にも、 |
| 1:54:01 | 耐震クラス書いてあったので、 |
| 1:54:10 | これ書くべきかなと思うんですがいかがですか。 |
| 1:54:15 | 東京電力五島です。コメントいただきました通り、各部署でちょっと横並 びがとれてないと思いますので、改めて横並びとらせていただきたいと 思っております。 |
| 1:54:25 | 規制庁津野です。了解しました。同じ、⑨の資料の 51 ページ。 |
| 1:54:32 | 断面検定結果なんですけれども、 |
| 1:54:35 | 水密扉のちいコントロールビルですねコンビルの地下 2 階のものにつ いて、 |
| 1:54:42 | 検定値が 0.96 と。 |
| 1:54:45 | いうものがあって、 |
| 1:54:47 | かなり厳しい結果が出てるんですけれども、これさっきご説明いただ いた通り、必ずしもこれはSクラスというわけじゃなくて、 |
| 1:54:55 | その結果かなり検定値が厳しいというそういう理解でよろしいですか。 |
| 1:55:13 | 東京電力古藤です。今コメントいただきました通り、耐震クラスによっ て厳しいというよりは各設備によって、 |
| 1:55:21 | 寸法等も違いますので、そちらの方でも差異が 5 あるとございますの で、そういった設備の差異というのがあると認識しております。 |
| 1:55:31 | 規制庁柘植です。わかりましたおそらくタテやあの床応答とかも効いてく るでしょうし、それぞれ諸条件が重なって、厳しく出てるところがあるとい うことを理解しました。 |
| 1:55:42 | で、ちょっと今のページそのままちょっと言っていたいて、 |
| 1:55:45 | ⑬の資料。 |
| 1:55:47 | 津波の時の津波水密扉の強度計算書の、 |
| 1:55:52 | 33 ページのこちらの強度評価結果のところなんですけども、 |
| 1:55:56 | こちら、タービン建屋の地下 2 階のところで、 |
| 1:56:00 | 同じ締め付け層序系品検定比 0.99 って出てこれもかなり厳しいと。 |
| 1:56:07 | いうところあって、それぞれの説明書により、計算書において、 |
| 1:56:13 | 代表選手が間違ってるんですね。 |
| 1:56:17 | 同じところが同じように厳しいのかって言ったらそうでもなくて、 |
| 1:56:21 | 津波に対してはここが厳しい、地震に対してここが厳しいってのが出 るんで、ちょっとですね、その代表先生だけでなく、全体として、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:56:31 | 結果見せていただいて、 |
| 1:56:33 | どの部位が何に対して弱いのかっていうのをちょっと確認したいんですけども、そういった補足説明資料等で説明をしていただくことは可能でしょうか。 |
| 1:56:43 | 失礼いたしました東京電力五藤です。 |
| 1:56:46 | すいません説明が漏れておりました。先ほど、 |
| 1:56:50 | ご説明いたしました。 |
| 1:56:53 | KK6 補足の 028-8 の比較表。 |
| 1:57:01 | すいません、5 番になりますね。 |
| 1:57:04 | 資料番号 5 番になりますKK6 の補足 028-8 回 0。 |
| 1:57:10 | 浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料となっております、 |
| 1:57:16 | こちらの |
| 1:57:18 | 2.8%と、すいません、失礼しました、2.12 ですね。 |
| 1:57:24 | の方に、水密扉の設計に関する補足説明資料となっております、 |
| 1:57:29 | こちらの方にですね今回代表以外の水密扉の評価結果、耐震強度強度溢水、 |
| 1:57:36 | そうですね入力値と結果のほうを記載一覧で掲載させていただいております。すいません説明が漏れて申し訳ございませんでした。 |
| 1:57:47 | はい。 |
| 1:57:47 | 350 ですね。失礼しました。資料の 359 に、59 になります。 |
| 1:57:56 | 規制庁津川ですはい。こちら見て。 |
| 1:58:00 | 一応エビデンスとして、一通り出てるというのは確認しました。 |
| 1:58:06 | ですね。 |
| 1:58:08 | 結構厳しい結果に対してこのままでいいのか、もう少し何らかの |
| 1:58:13 | 余裕を持たせるのかという、ただ、今のところはもうこのままでいくと、 |
| 1:58:18 | そういうことでよろしいですか。東京電力古藤です。 |
| 1:58:21 | 今、コメントいただきました通り、あらゆる数値に対してもですね、弊社の方でちょっと保守性を見た数値等も用いて検討している部分もございますので、評価結果としては 0.99 というふうに、厳しい数字になってるんですけども、めどはそのまま、 |
| 1:58:35 | ちょっと進めさせていただこうと思っております。 |
| 1:58:39 | ちょっと繊細わかりました。私からは以上です。 |
| 1:58:48 | 規制庁の山浦です。 |
| 1:58:53 | 12 番の取水槽の閉止版の共同経産省ですけど、これ、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:59:00 | 閉止版が 10 億を対象。 |
| 1:59:03 | ということなんですけど、す。 |
| 1:59:07 | 最後の、 |
| 1:59:08 | 25 ページに、1237 五つ。 |
| 1:59:16 | 上がってますけど、 |
| 1:59:18 | これ、 |
| 1:59:21 | この五つの五つを評価することによって 10、15 ヶ所で全部網羅してると いうことでよろしいでしょうか。 |
| 1:59:31 | 東京電力の藤岡です。衛藤説明すみません間違えたら申し訳ないです けども、2 ページをご覧ください、 |
| 1:59:40 | あと、 |
| 1:59:41 | 2 ページの上側に丸を打ってる箇所 5 ヶ所が取水槽閉止盤を設置して いる場所です、 |
| 1:59:48 | ヨシザワ閉シバにつきましてはすべて評価をしています。 |
| 1:59:53 | なのが実情でございます。 |
| 1:59:56 | 閉止版の箇所は 5 ヶ所ということで、はい、じゃあ、私の聞き間違い。 |
| 2:00:02 | と思います。 |
| 2:00:04 | それ等、資料の 14 なんですけど、 |
| 2:00:10 | これ溢水で、水密扉 61 ヶ所、 |
| 2:00:15 | というふうに、 |
| 2:00:17 | 聞いたんですけども。 |
| 2:00:28 | この付近、61 ヶ所ということなんですけど、それらの寸法とか、 |
| 2:00:35 | は、 |
| 2:00:37 | 補足説明書の方で出てるんでしょうか。 |
| 2:00:58 | 東京電力古藤でございます。 |
| 2:01:00 | 今、コメントいただきましたのが、先ほどご説明させていただきました、 資料No.5 ですね、KK6 補足 02880 の、 |
| 2:01:11 | 通し番号 361 ページ目からになると思うんですけども、 |
| 2:01:16 | こちらの方をちょっとご覧いただくと、現状、寸法等を、扉の寸法とはちょ っと、 |
| 2:01:22 | この補足には記載してないというような状態になりますので、 |
| 2:01:26 | コメントの趣旨としては、追記して欲しいというような内容と理解してよろ しいでしょうか。 |
| 2:01:32 | 強度計算とか耐震計算をするときに、 |
| 2:01:38 | 必要な寸法というのは少なくとも貴殿の方では、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:01:43 | 大部分が添付資料に入ってるんですけど、 |
| 2:01:46 | 少なくとも終わるようにはなって、それがないっていうのは少しおかしいかなと思います。 |
| 2:01:54 | 6号との間、アマノ7号との関係もあるんだったらここに入れてくれ。 |
| 2:02:00 | 当間までは言わないですけどはっきりわかるようにして欲しいです。 |
| 2:02:13 | 東京電力後藤でございます。 |
| 2:02:15 | 失礼いたしました。 |
| 2:02:17 | 計算としましてはですね、今記載をさせていただいている定義の部分で、数値を追っていくことで計算の大井はできるんですけども、扉の全体としての寸法が記載されていないといったような形になります。 |
| 2:02:37 | 東京電力の吉田です。あと、ちょっと補足させていただきますと、全体的なですね、幅とか高さとか、そういった外概要寸法については、 |
| 2:02:48 | 各構造図の方に示しているというところになります。 |
| 2:02:56 | 構造計算する上での必要な寸法は、 |
| 2:03:01 | どこかでわかるということでしょうか。 |
| 2:03:05 | 東京電力後藤でございます。今の通し番号361の1ポツ1、2の入力値。 |
| 2:03:13 | と記載ございますがこちらの方で、計算上構造計算上に必要な入力値については終わるというような形になっております。はい、了解いたしました。 |
| 2:03:25 | それから16番の資料ですけど、取水堰の強度計算書なんですけど、 |
| 2:03:33 | それで、 |
| 2:03:35 | 32ページ2、 |
| 2:03:37 | コンクリート製のセキで、対象がこれで、 |
| 2:03:42 | 代表がこれっていうふうに書いてるんですけど、 |
| 2:03:45 | これセキだったら、 |
| 2:03:48 | 例えば高さが全部同じなのかどうかわからないんですけど、 |
| 2:03:53 | まず、高さは同じなんでしょうか違うんでしょうか。 |
| 2:04:03 | 東京電力後藤でございます。 |
| 2:04:05 | とにかくセキについて高沢、やはりちょっと違うものもございます。 |
| 2:04:12 | それで、高さを示さないと何か代表として、 |
| 2:04:17 | 選んだ理由がよくわからないんですが、 |
| 2:04:23 | 高層、 |
| 2:04:24 | 示す必要はないのかなと思うんですけどいかがでしょうか。 |
| 2:04:32 | 東京電力古藤でございます。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:04:34 | 例えば、今、 |
| 2:04:40 | 資料ナンバーが、11、16 ですね、16 のKK6 の、サノ 015 の 12 年セキの強度計算書の 24 ページ目。 |
| 2:04:52 | になりますがこちらの方で、構成と落とし込みセキの共同チェック、評価に用いるアノ記号と書いておりましたこちらの上段から五つ目の方で取水堰の高さ等を記載しておりました、 |
| 2:05:05 | こちらの後段ですね後段の方でも、 |
| 2:05:10 | 65 ページ目になりますけども、 |
| 2:05:16 | あ、失礼しました、ちょっとスピード落とします。 |
| 2:05:24 | すいません |
| 2:05:30 | 32 ページにコンクリート製セキ。 |
| 2:05:34 | の表 3.7 っていうのがあってリストがあって、 |
| 2:05:41 | 代表というところが、下から二つ目に丸が打たれてるんですけど、 |
| 2:05:48 | これコンクリートセキなんですけど高沢。 |
| 2:05:52 | 全部同じですか。違う。違います。 |
| 2:06:13 | あ、東京電力後藤でございます。 |
| 2:06:16 | 失礼いたしました。先ほど、 |
| 2:06:18 | ちょっとご説明いたしました資料ナンバーがですね、 |
| 2:06:22 | No.5 になります。 |
| 2:06:26 | KK6 補足 028-8 階 0 の浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料の中の、 |
| 2:06:35 | 通し番号 170 ページになります。 |
| 2:06:46 | こちらに 2.8 で被水セキの設計に関する補足説明資料となっております、 |
| 2:06:52 | こちら 1 ページめくっていただきますと目次記載しているんですけども、先ほどの水密扉の補足説明資料同様ですね、入力値の方、 |
| 2:07:00 | と、共同計算結果の方を、 |
| 2:07:03 | 記載しておりました、 |
| 2:07:17 | 衛藤。 |
| 2:07:18 | 全部高さ共通になるんですけども、 |
| 2:07:21 | 例えば 172 の通し番号の方になりますけども、 |
| 2:07:28 | 上から 3 行目ですね、市として取水堰の高さ、L型好成績になりますけどもこちらの方を記載しておりました、こちらもRCセキも構成落とし込みセキ等も、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:07:38 | 同様に、1000 席に対して高さ等も記載しているというようなものになります。 |
| 2:07:46 | コンクリートのセキは、何ページを見ればよろしいのでしょうか。 |
| 2:07:56 | なので、通し番号でいきますと、 |
| 2:08:03 | 通し番号 185 になります。 |
| 2:08:20 | 例えばセキの高さはどこに書いてんですかね。 |
| 2:08:40 | 違う。 |
| 2:09:00 | 失礼いたしますちょっと一度確認させていただいてですね。 |
| 2:09:07 | 東京電力の吉田です。通し番号で言いますと、239 ページ。 |
| 2:09:25 | 失礼しました 236 ページからが、鉄筋コンクリート製セキの止水セキの必要な |
| 2:09:32 | パラメータを記載しているものであります。それぞれの表の上から二つ目のところに大字Hとありますけれども、こちら側の取水堰の |
| 2:09:41 | 鉄筋コンクリート製セキの浸水高さ、止水堰の高さとなっております。 |
| 2:09:47 | はい。それで、これセキはいろいろ高さがいろいろ違うんですけども、やっぱり高さっていうのは、その代表を選ぶ上で、 |
| 2:09:57 | 多分一番重視するような気もするんですけど、 |
| 2:10:01 | この代表はどういう理由で選んだんでしょう。はい。東京電力の吉田です |
| 2:10:09 | 今回いろいろ |
| 2:10:12 | アンカー金ですとか、コンクリートですとかそういった評価部位がございます。その評価部位の中で最も検定値の低い、関井が長谷ありますので、そちらの方を代表で記載すると。 |
| 2:10:26 | それ以外については、こちらの今、ご説明させていただいた補足の方で、入力値とその結果を示しているというところでございます。 |
| 2:10:41 | はい。検定値が一番大きいのを、 |
| 2:10:46 | 代表にするっていうのは、 |
| 2:10:50 | あえて書かなくてもよろしいのでしょうか。 |
| 2:10:55 | うーん。 |
| 2:10:57 | この表 3.72 ウダ、 |
| 2:11:01 | 評価の対象等の鉄筋コンクリート製セキの選定結果を表。 |
| 2:11:06 | 3-7 に示すというふうにポンと書かれて丸がポンとウタれて、 |
| 2:11:10 | 一体どう、どうしたかなと。 |
| 2:11:13 | 根拠はどういうことなのかなということなんですけど。 |
| 2:11:23 | 要は、全全部計算して、代表を、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:11:28 | 結果を示すということですね。多分、はい。東京電力の吉田です。これ、これだけしか評価してないのかなとちょっと思っちゃったもので、すいません。ちょっとですねナンバー16の資料の28ページをご覧くださいたいんですけども、 |
| 2:11:50 | そちらの方にちょっとわかりづらいんですけど、3.2ポツとしまして、何をこちらに記載するということをごかけかえと記載させていただいております、 |
| 2:12:01 | そのセキの種類ですね、L型航跡構成落とし込み型セキ鉄筋コンクリート製セキ、あと後半組み合わせセキと四つ種類分けてますけど、それぞれについて、 |
| 2:12:13 | 評価結果最も厳しい、これは評価部位の中で検定時が一番厳しいという意味です。 |
| 2:12:19 | の表セキを代表としてこちらの方に記載するということを記載させていただいております。 |
| 2:12:26 | はい。一応、全部評価して、 |
| 2:12:31 | 一番厳しい、厳しいの載ってるということはわかりました。 |
| 2:12:35 | ただその、 |
| 2:12:39 | 3.7のところちょっと説明加えてもいいかなと。 |
| 2:12:44 | と思うんですけど。 |
| 2:12:46 | いかがでしょうか。 |
| 2:12:56 | 東京電力の吉田です。ページで言いますと32ページご覧くださいたいんですけども、 |
| 2:13:05 | はい。こちら、3.2.2で鉄筋コンクリート製成績の代表を示しているところがございますけれども、代表の丸印のところに注記を打っております、 |
| 2:13:15 | 注記として、最も評価結果が厳しい評価、評価部位を有するセキを選定していますというふうに記載させていただいております。はい、わかりました。これ、ちょっと見逃してました。はい。私からは以上です。 |
| 2:13:34 | 規制庁津金です今、⑤の資料見ていって気づいたんですけども、 |
| 2:13:38 | 先ほど代表選手だけではなくてすべての水密扉についての結果が出ているというお話いただいて、水色見てたんですけども、 |
| 2:13:47 | 通しの377ページ。 |
| 2:13:50 | で、 |
| 2:13:51 | こちら |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:13:54 | 発生応力度と今日限界値の関係が一番厳しいものについて*3売ってるんですけども、 |
| 2:13:59 | このページに注記のところに*3がない。 |
| 2:14:05 | ですね。 |
| 2:14:07 | 同じ観点で見てた時に372ページ見ていたら、372ページは特にその |
| 2:14:14 | 評価対象部位の最大値を示すものはないんですけど、*の3がついてると。 |
| 2:14:20 | で、 |
| 2:14:21 | ちょっと、 |
| 2:14:24 | 記載の適正化をしていただきたいと。 |
| 2:14:26 | よろしくお願いします。 |
| 2:14:28 | 東京電力後藤です。ちょっといたしました。失礼いたしました。 |
| 2:14:32 | はい。規制庁津田です。あとこれはですねちょっと、 |
| 2:14:36 | 期限の方のルール等、 |
| 2:14:39 | シスミツイ関係の書類のつくり方で、ひよっとしたら構成が違ってるともしれないんですけども、11番の資料についてご覧いただくと、 |
| 2:14:51 | まず、表紙表が実がありまして、その次に、 |
| 2:14:55 | 多分添付資料の表紙がついてるんですね。 |
| 2:14:58 | で、他の、 |
| 2:15:00 | 同じ取水堰の強度計算書も同じなんですけれども、他の水密扉とか経地盤についてはこの |
| 2:15:07 | 添付資料の表紙がついてない。 |
| 2:15:09 | で、記念の方の資料は確か添付資料の表紙がついていたと思われるんですけどもこれ別についてたからどうというわけなんですけど統一したルールとかあるんでしょうか。 |
| 2:15:33 | すいません東京電力の山口です。この表紙関連はですねあまり決まった記載ありませんので、こちらあくまで審査資料として出す場合に、 |
| 2:15:43 | 既存の添付書類の表紙にこの資料番号枠入れて出すものもあれば、 |
| 2:15:50 | 既存の添付書類2、さらにもう1個、同じような事に資料番号の枠を入れたものを出すといったものがあって、ちょっとここまでは厳格に統一はしてません。 |
| 2:16:02 | わかりましたこれですね基本方針の時に、 |
| 2:16:08 | この四角の資料番号入れたところのところに文書番号が入ってないものがあつたんで、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:16:13 | それ入れてくれって話があって、それとの関連もあって、今見たら、こうなってるんだったら、わかったんですけど特に統一的なルールはなくてということで理解しました。これ結構です。私からは以上です。 |
| 2:16:34 | はい、規制庁の千明ですが他に。 |
| 2:16:38 | ありますか。大丈夫ですか。資料全体を通して、規制側から確認する点ある方。 |
| 2:16:44 | よろしいでしょうか。はい。東京電力から追加の説明等ありますか。 |
| 2:16:53 | 東京電力古藤です。ごさいません。はい、わかりました。 |
| 2:16:57 | それでは、本日のヒアリング終了いたします。ありがとうございました。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。